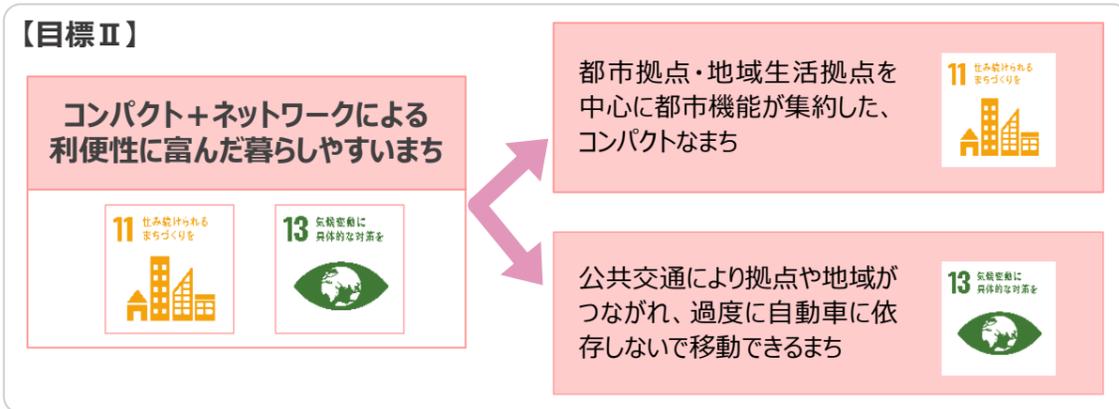
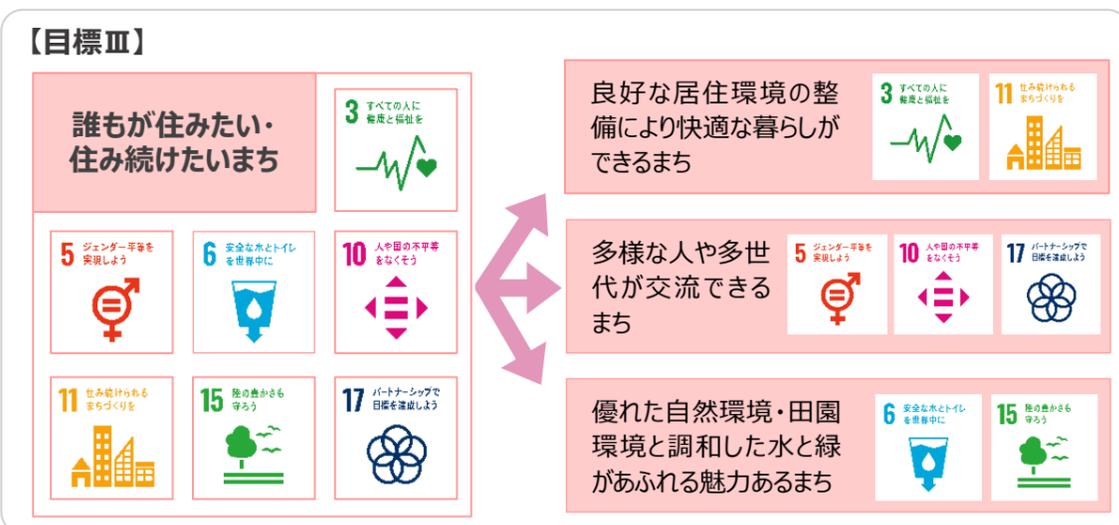


旧

- 東郷セントラル地区を中心に、商業施設等の都市機能が集約した魅力ある都市拠点进行形成し、町内及び周辺都市からの交流人口の増加を目指します。
- 交流人口の増加により、日常的な賑わいや活力を増大させるとともに、産業拠点の形成を図り、他都市への経済依存を抑制し、自立的な都市経営を強化することで、持続的なまちづくりを目指します。
- 工業系や研究開発系の新たな産業拠点の形成を図り、地域特性を生かした産業系機能の充実により、町全体の地域経済の活力向上を図ります。

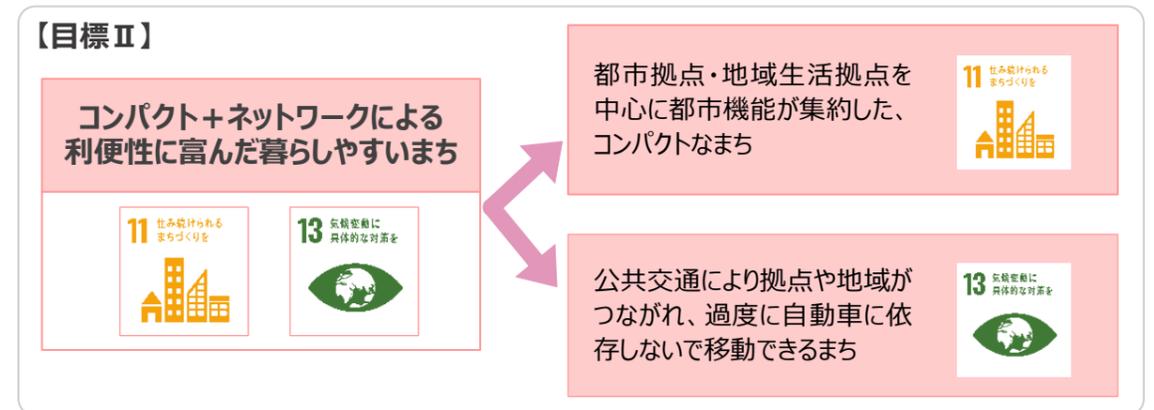


- 東郷セントラル地区を中心とした都市拠点の形成と、市街地の特性に応じた地域生活拠点の形成により、都市機能が集約したコンパクトなまちの形成を目指します。
- 既存の市街化区域を中心に一体的な市街地の形成を図るとともに、隣接都市の駅や市街地との位置関係等を考慮し、適切な市街地の配置を目指します。
- 東郷セントラル地区のバスターミナルを軸として、都市拠点や地域生活拠点、鉄道駅等の交通結節点*や分散する市街地を適切につなぐ公共交通サービスにより、利便性を高め、過度に自動車に依存しなくても移動ができるネットワークの形成を目指します。
- 都市計画道路等の整備を推進し、町内と町外を結ぶ道路ネットワークの形成を目指します。
- 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービス*の導入に向けた AI（人工知能）や自動運転技術等の新技術を活用したデマンド型交通*や自動運転バス等の整備への取組を検討します。

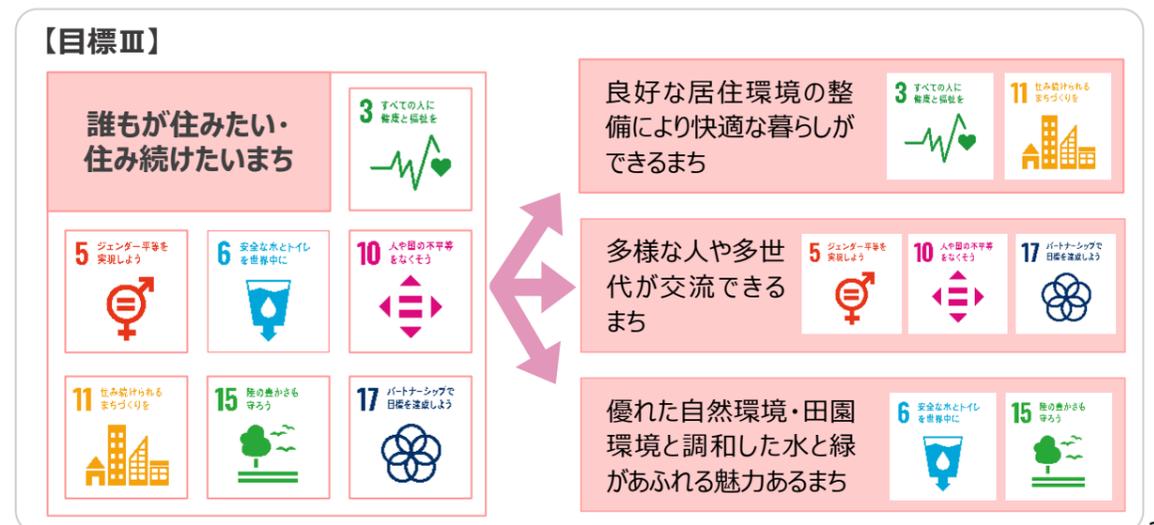


新

- 東郷セントラル地区を中心に、商業施設等の都市機能が集約した魅力ある都市拠点を形成し、町内及び周辺都市からの交流人口の増加を目指します。
- 交流人口の増加により、日常的な賑わいや活力を増大させるとともに、産業拠点の形成を図り、他都市への経済依存を抑制し、自立的な都市経営を強化することで、持続的なまちづくりを目指します。
- 工業系や研究開発・工業系の新たな産業拠点の形成を図り、地域特性を生かした産業系機能の充実により、町全体の地域経済の活力向上を図ります。



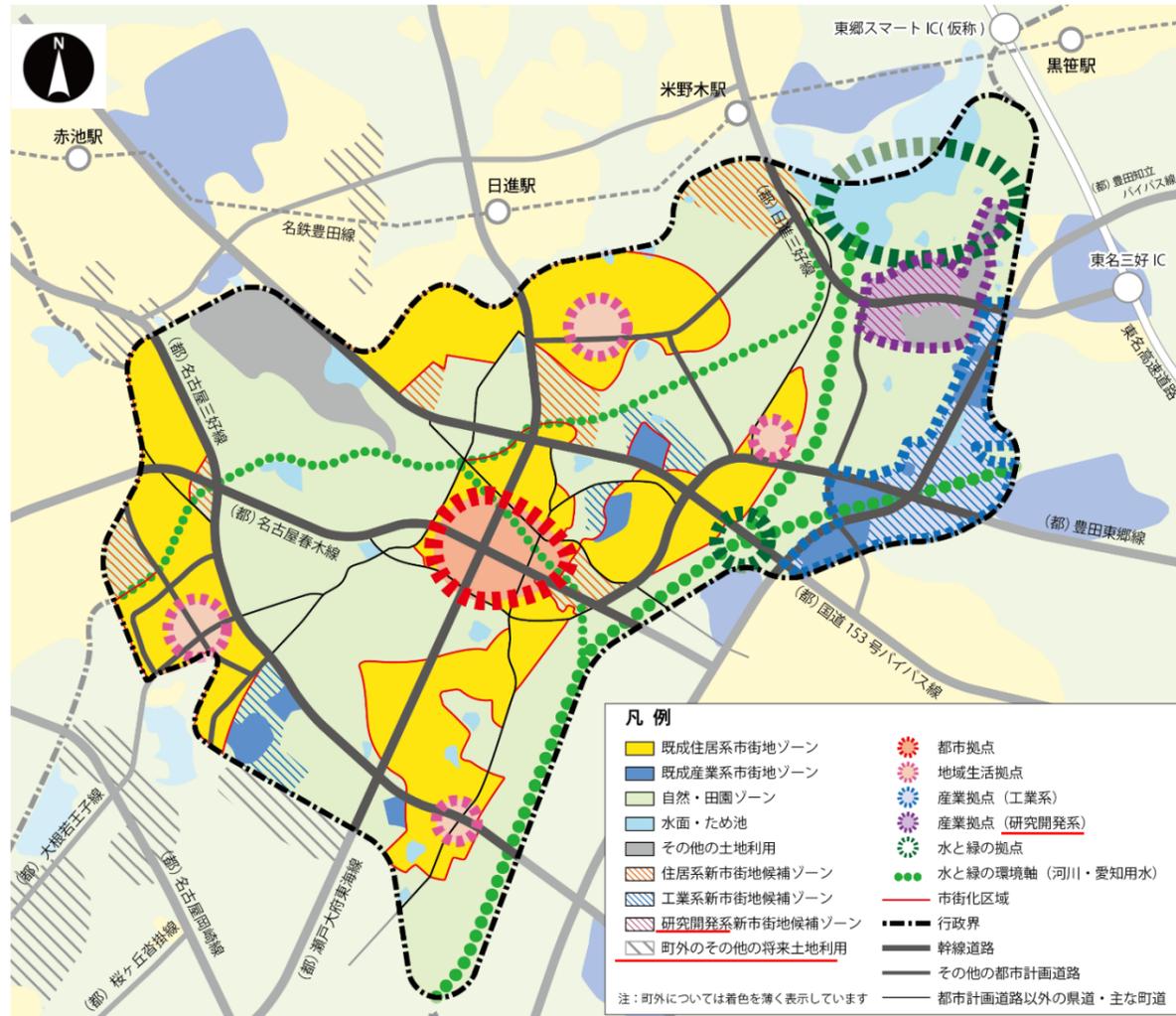
- 東郷セントラル地区を中心とした都市拠点の形成と、市街地の特性に応じた地域生活拠点の形成により、都市機能が集約したコンパクトなまちの形成を目指します。
- 既存の市街化区域を中心に一体的な市街地の形成を図るとともに、隣接都市の駅や市街地との位置関係等を考慮し、適切な市街地の配置を目指します。
- 東郷セントラル地区のバスターミナルを軸として、都市拠点や地域生活拠点、鉄道駅等の交通結節点*や分散する市街地を適切につなぐ公共交通サービスにより、利便性を高め、過度に自動車に依存しなくても移動ができるネットワークの形成を目指します。
- 都市計画道路等の整備を推進し、町内と町外を結ぶ道路ネットワークの形成を目指します。
- 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービス*の導入に向けた AI（人工知能）や自動運転技術等の新技術を活用したデマンド型交通*や自動運転バス等の整備への取組を検討します。



2-3 将来都市構造

現況・課題、将来都市像・都市づくりの目標を踏まえ、東郷町の将来都市構造について、以下のように設定します。

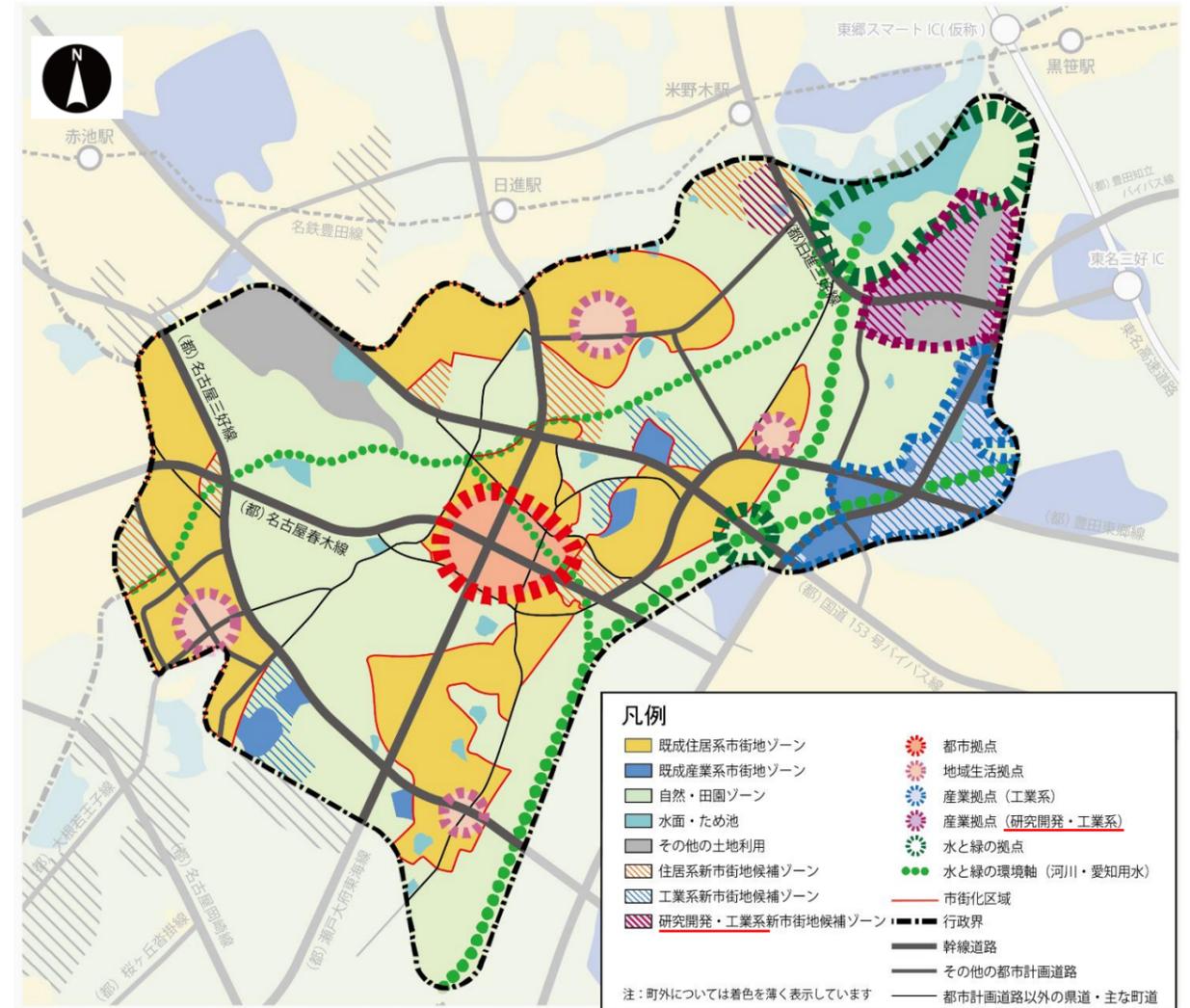
【将来都市構造図】



2-3 将来都市構造

現況・課題、将来都市像・都市づくりの目標を踏まえ、東郷町の将来都市構造について、以下のように設定します。

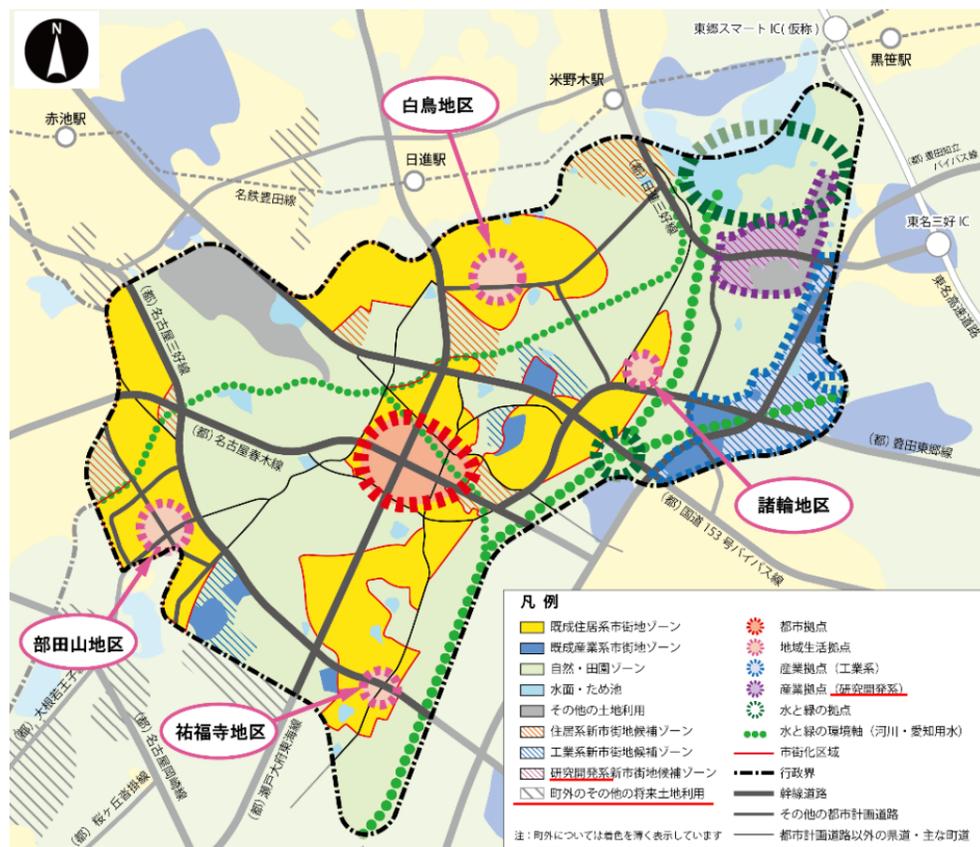
【将来都市構造図】



地域生活拠点

- 地域生活拠点においては、既存の都市機能の維持・充実により、生活便利施設、福祉、交流等の機能の充実を図ります。また、旧来からの市街地等では、伝統的な地域の中核としての位置付けを継承し、地域固有の歴史・文化的資源の維持や活用を図ります。
- 白鳥地区の商業集積地区を中心に、商業施設等の既存ストック*を活用した日常的な生活サービス機能を提供できる地域生活拠点の形成を図ります。
- 部田山地区の各種公共公益施設や商業施設等が集積する地区について、日常的な生活サービス機能のさらなる維持・充実により地域生活拠点の形成を図ります。
- 祐福寺地区の商業施設等が集積する地区について、これら機能の維持・充実を図り、日常的な生活サービス機能を提供できる地域生活拠点の形成を図ります。
- 諸輪地区の中市周辺は、地域に根差した社寺・無形文化財等の歴史・文化資源があるほか、近隣の市街化調整区域に公民館や小学校・保育園・児童館等が立地しています。こうした歴史・文化資源や日常生活を支える都市機能と連携し、施設の利用者の中心となる子育て世代や若者世代が住みやすい住環境の整備を図るとともに、新旧の居住者、外国人居住者等、多様な人の交流が盛んな地域生活拠点の形成を図ります。

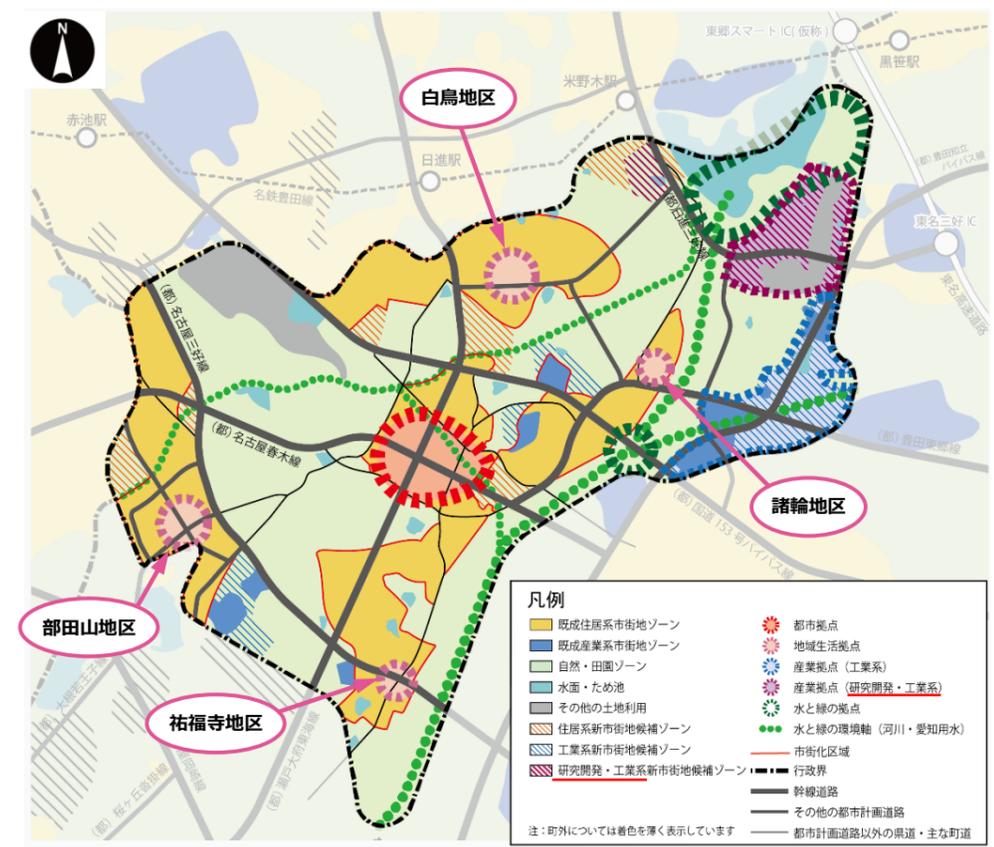
【地域生活拠点案内図】（38ページの将来都市構造図の再掲）



地域生活拠点

- 地域生活拠点においては、既存の都市機能の維持・充実により、生活便利施設、福祉、交流等の機能の充実を図ります。また、旧来からの市街地等では、伝統的な地域の中核としての位置付けを継承し、地域固有の歴史・文化的資源の維持や活用を図ります。
- 白鳥地区の商業集積地区を中心に、商業施設等の既存ストック*を活用した日常的な生活サービス機能を提供できる地域生活拠点の形成を図ります。
- 部田山地区の各種公共公益施設や商業施設等が集積する地区について、日常的な生活サービス機能のさらなる維持・充実により地域生活拠点の形成を図ります。
- 祐福寺地区の商業施設等が集積する地区について、これら機能の維持・充実を図り、日常的な生活サービス機能を提供できる地域生活拠点の形成を図ります。
- 諸輪地区の中市周辺は、地域に根差した社寺・無形文化財等の歴史・文化資源があるほか、近隣の市街化調整区域に公民館や小学校・保育園・児童館等が立地しています。こうした歴史・文化資源や日常生活を支える都市機能と連携し、施設の利用者の中心となる子育て世代や若者世代が住みやすい住環境の整備を図るとともに、新旧の居住者、外国人居住者等、多様な人の交流が盛んな地域生活拠点の形成を図ります。

【地域生活拠点案内図】（38ページの将来都市構造図の再掲）



産業拠点（工業系・研究開発系）

- （都）豊田知立バイパス線、（都）日進三好線、（都）東郷三好線等の都市計画道路沿道は、東名三好 IC といった広域交通体系*によるポテンシャルが高いことから、産業拠点として位置付けます。産業拠点においては、地域の持つさまざまな利活用の可能性や周辺の農業環境との調和に配慮した市街地整備のあり方を検討し、工業系・研究開発系の先進的で多様な産業機能が集積する拠点としての形成を図ります。

水と緑の拠点

- 愛知池周辺とその周辺の森林を、水と緑の拠点として位置付け、豊かな水環境を守りつつ、周辺開発との調和をもって自然と人の共生を図ります。
- 境川緑地については、町内における親水空間として、保全・整備・活用を図ります。



【愛知池】

（2）土地利用の構成（ゾーニング）

既成住居系市街地ゾーン

- 現在の市街化区域は、非住居系の土地利用を除き、多様な人や世代が安心して暮らせる持続的な既成住居系市街地ゾーンとして位置付けます。

既成産業系市街地ゾーン

- 諸輪工業団地や東郷町工業団地、北山地区工業集積地、大規模な既存の工業地や、諸輪東部地域の工業系・物流系の開発地については、既成産業系市街地ゾーンとして位置付けます。

自然・田園ゾーン

- 市街化調整区域において豊かな農地、緑等が広がる地域については、自然・田園ゾーンとして位置付けます。



【東郷町工業団地】

新市街地候補ゾーン

- 目標年次における将来人口を踏まえ、市街化区域に隣接する地域や鉄道駅などに近く利便性を生かせる地域において、新たな市街地形成について検討する住居系新市街地候補ゾーンを設定します。
- 将来の産業拠点の形成や既存工業系市街地の拡充のため、産業系の新市街地を検討する工業系新市街地候補ゾーンと研究開発系新市街地候補ゾーンを設定します。
- 新市街地の整備に当たっては、災害リスクを十分考慮し、安全な市街地整備を図ります。

産業拠点（工業系、研究開発・工業系）

- （都）豊田知立バイパス線、（都）日進三好線、（都）東郷三好線等の都市計画道路沿道は、東名三好 IC といった広域交通体系*によるポテンシャルが高いことから、産業拠点として位置付けます。産業拠点においては、地域の持つさまざまな利活用の可能性や周辺の農業環境との調和に配慮した市街地整備のあり方を検討し、工業系や研究開発・工業系の先進的で多様な産業機能が集積する拠点としての形成を図ります。

水と緑の拠点

- 愛知池周辺とその周辺の森林を、水と緑の拠点として位置付け、豊かな水環境を守りつつ、周辺開発との調和をもって自然と人の共生を図ります。
- 境川緑地については、町内における親水空間として、保全・整備・活用を図ります。



【愛知池】

（2）土地利用の構成（ゾーニング）

既成住居系市街地ゾーン

- 現在の市街化区域は、非住居系の土地利用を除き、多様な人や世代が安心して暮らせる持続的な既成住居系市街地ゾーンとして位置付けます。

既成産業系市街地ゾーン

- 諸輪工業団地や東郷町工業団地、北山地区工業集積地、大規模な既存の工業地や、諸輪東部地域の工業系・物流系の開発地については、既成産業系市街地ゾーンとして位置付けます。

自然・田園ゾーン

- 市街化調整区域において豊かな農地、緑等が広がる地域については、自然・田園ゾーンとして位置付けます。



【東郷町工業団地】

新市街地候補ゾーン

- 目標年次における将来人口を踏まえ、市街化区域に隣接する地域や鉄道駅などに近く利便性を生かせる地域において、新たな市街地形成について検討する住居系新市街地候補ゾーンを設定します。
- 将来の産業拠点の形成や既存工業系市街地の拡充、地域の産業振興を図るため、産業系の新市街地を検討する工業系新市街地候補ゾーンと研究開発・工業系新市街地候補ゾーンを設定します。
- 新市街地の整備に当たっては、災害リスクを十分考慮し、安全な市街地整備を図ります。

工業系新市街地候補ゾーン、研究開発系新市街地候補ゾーン

- (都)豊田知立バイパス線、(都)日進三好線、(都)豊田東郷線の幹線道路や、東名三好 IC 及び(仮称)東郷スマート IC といった広域交通体系によるポテンシャルが高い諸輪東部の工場等集積地は、東郷町の産業拠点として工業系土地利用を主体とした先進的な工業系新市街地候補ゾーンを設定します。
- 諸輪工業団地、北山地区工業集積地、東郷町工業団地の工業集積地については、既存用地の施設立地が進んでおり、事業者の既存工場の拡大に対するニーズも高く、今後も産業機能の集積を図るため、既存団地の拡大による工業系新市街地候補ゾーンを設定します。
- 東部には名古屋大学東郷農場*が立地しており、その周辺に新たな研究開発型産業機能の立地が進むように、既存施設と連携し、東郷町の産業をリードする研究開発の拠点として研究開発系新市街地候補ゾーンを設定します。
- これらの新市街地候補ゾーンについては、地域の持つさまざまな利活用の可能性に配慮するとともに、個々の開発敷地内の緑化を条例等により推進することで、営農環境や自然環境との調和に十分留意した整備の在り方を検討します。

(2) 市街化調整区域の土地利用方針**① 田園・集落地**

- 市街化調整区域に点在する既存集落は、旧来からのコミュニティを形成しており、身近な道路等の居住環境整備を進めることにより、これまでの生活環境の維持・向上を図ります。
- 境川を始めとする河川沿いの低地部に広がる農地は、生産機能のほか災害防止機能や自然環境保全機能等多面的な機能を有しています。面的にまとまった一団の農地については、維持・保全を図るとともに、その他の農地についても、農地中間管理事業*による農地集積・農地集約を利用した大区画化の推進を図り、虫食いの抑制に努めます。

② 森林

- 「水と緑の拠点」に位置付けた愛知池周辺に広がる森林については、無秩序な開発を抑制し、里山づくり等身近に自然とふれあい、豊かな自然を体感できる場として維持・保全を図ります。

工業系新市街地候補ゾーン、研究開発・工業系新市街地候補ゾーン

- (都)豊田知立バイパス線、(都)日進三好線、(都)豊田東郷線の幹線道路や、東名三好 IC 及び(仮称)東郷スマート IC といった広域交通体系によるポテンシャルが高い諸輪東部の工場等集積地は、東郷町の産業拠点として工業系土地利用を主体とした先進的な工業系新市街地候補ゾーンを設定します。
- 諸輪工業団地、北山地区工業集積地、東郷町工業団地の工業集積地については、既存用地の施設立地が進んでおり、事業者の既存工場の拡大に対するニーズも高く、今後も産業機能の集積を図るため、既存団地の拡大による工業系新市街地候補ゾーンを設定します。
- 愛知池に隣接する(都)日進三好線の沿線は、東名三好 IC や日進市の米野木駅により交通アクセスの優れた地域であり、また、名古屋大学東郷フィールド*も立地しています。この地域特性を有効に活用し、愛知池周辺の緑と産業の調和を図り、既存の土地利用や自然環境に配慮された研究開発施設や製造拠点による研究開発・工業系土地利用を主体とした研究開発・工業系新市街地候補ゾーンを設定します。
- これらの新市街地候補ゾーンについては、地域の持つさまざまな利活用の可能性に配慮するとともに、個々の開発敷地内の緑化を条例等により推進することで、営農環境や自然環境との調和に十分留意した整備の在り方を検討します。

(2) 市街化調整区域の土地利用方針**① 田園・集落地**

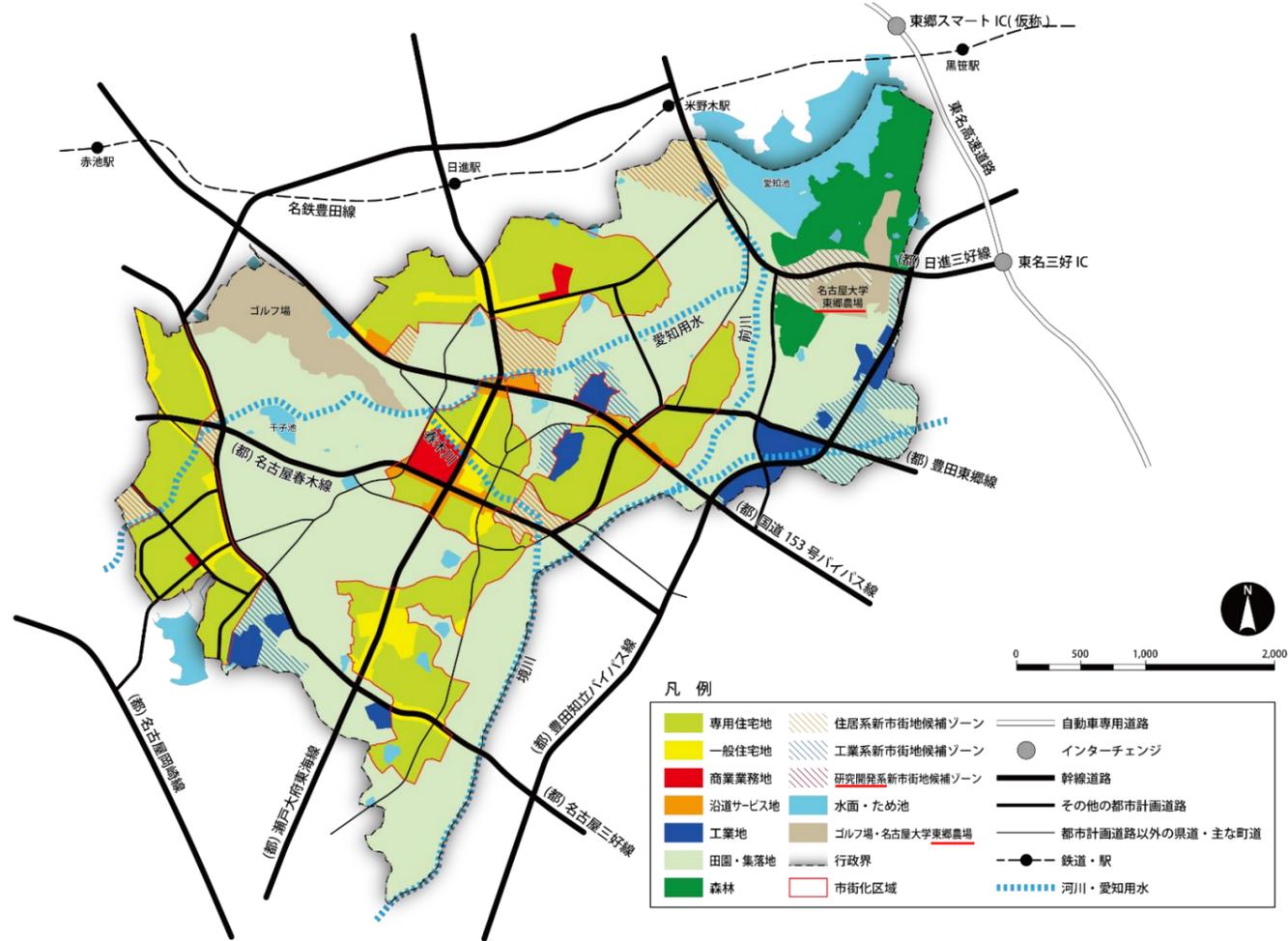
- 市街化調整区域に点在する既存集落は、旧来からのコミュニティを形成しており、身近な道路等の居住環境整備を進めることにより、これまでの生活環境の維持・向上を図ります。
- 境川を始めとする河川沿いの低地部に広がる農地は、生産機能のほか災害防止機能や自然環境保全機能等多面的な機能を有しています。面的にまとまった一団の農地については、維持・保全を図るとともに、その他の農地についても、農地中間管理事業*による農地集積・農地集約を利用した大区画化の推進を図り、虫食いの抑制に努めます。

② 森林

- 「水と緑の拠点」に位置付けた愛知池周辺に広がる森林については、無秩序な開発を抑制し、里山づくり等身近に自然とふれあい、豊かな自然を体感できる場として維持・保全を図ります。

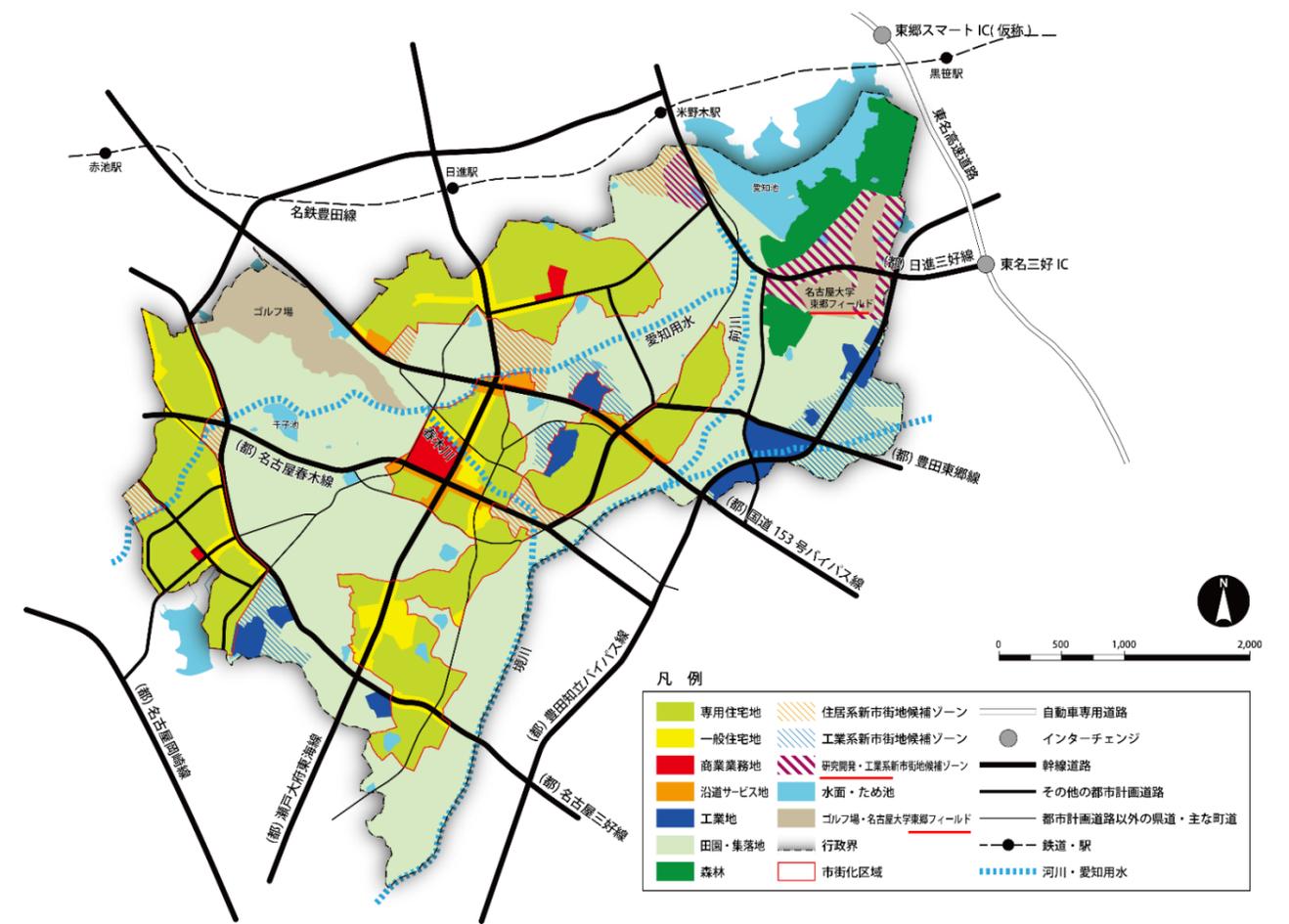
旧

【土地利用方針図】



新

【土地利用方針図】



3-3 交通体系の整備方針

(1) 道路整備の方針

① 幹線道路の整備方針

■ 東郷町の広域的交通需要に対応する東西方向の主要な幹線道路である(都)国道 153 号バイパス線は 4 車線としての整備がなされています。また、南北方向の(都)瀬戸大府東海線の整備は完了しており、今後も円滑な交通処理機能や災害時の緊急輸送道路*として機能の確保に向けて、計画的な維持・管理を関係機関に働きかけていきます。



【(都)国道 153 号バイパス線】

- (都)国道 153 号バイパス線は、これまで 4 車線としての整備がなされていますが、今後のリニア開業による人の移動・物流ニーズの増加等への対応も含め、6 車線化の実現に向け国に要望をしていきます。
- 主要な幹線道路を補完する東西方向の(都)日進三好線、(都)豊田東郷線、(都)名古屋三好線、(都)名古屋春木線、南北方向の(都)豊田知立バイパス線については、分散した市街地を連絡する路線であるとともに、広域交通体系と新たな工業系・研究開発系新市街地候補ゾーンとを結ぶ重要な路線でもあることから、整備が完了していない区間については、関係機関と協議しながら、早期整備の促進を図ります。

② その他の主要道路の整備方針

- 幹線道路を補完し、幹線道路ネットワークを形成する上記以外の都市計画道路のうち、東郷町西部に位置する路線は土地区画整理事業にあわせて整備済となっています。そこで今後は東部の未整備路線について、関係機関と協議しながら、整備の促進を図ります。
- 都市計画道路を補完する県道や主要な町道も、市街地や集落地の日常生活圏の骨格を形成する道路として重要な役割を担うことから、関係機関と協議しながら、整備の促進を図ります。
- 朝夕の通勤時間帯における著しい渋滞を解消する道路整備を検討します。

③ 都市計画道路の見直し等の方針

- 都市計画道路については、社会経済情勢の変化に対応する等、関係機関と協議しながら、必要に応じて見直しを検討します。

④ 生活道路の整備方針

- 狭あい道路や行き止まり道路については、沿道建物の建替えにあわせた拡幅整備等、防災性及び交通安全性の向上に向けて効率的な整備を進めるとともに、通過交通を排除するための対策を図ります。

3-3 交通体系の整備方針

(1) 道路整備の方針

① 幹線道路の整備方針

■ 東郷町の広域的交通需要に対応する東西方向の主要な幹線道路である(都)国道 153 号バイパス線は 4 車線としての整備がなされています。また、南北方向の(都)瀬戸大府東海線の整備は完了しており、今後も円滑な交通処理機能や災害時の緊急輸送道路*として機能の確保に向けて、計画的な維持・管理を関係機関に働きかけていきます。



【(都)国道 153 号バイパス線】

- (都)国道 153 号バイパス線は、これまで 4 車線としての整備がなされていますが、今後のリニア開業による人の移動・物流ニーズの増加等への対応も含め、6 車線化の実現に向け国に要望をしていきます。
- 主要な幹線道路を補完する東西方向の(都)日進三好線、(都)豊田東郷線、(都)名古屋三好線、(都)名古屋春木線、南北方向の(都)豊田知立バイパス線については、分散した市街地を連絡する路線であるとともに、広域交通体系と新たな工業系や研究開発・工業系新市街地候補ゾーンとを結ぶ重要な路線でもあることから、整備が完了していない区間については、関係機関と協議しながら、早期整備の促進を図ります。

② その他の主要道路の整備方針

- 幹線道路を補完し、幹線道路ネットワークを形成する上記以外の都市計画道路のうち、東郷町西部に位置する路線は土地区画整理事業にあわせて整備済となっています。そこで今後は東部の未整備路線について、関係機関と協議しながら、整備の促進を図ります。
- 都市計画道路を補完する県道や主要な町道も、市街地や集落地の日常生活圏の骨格を形成する道路として重要な役割を担うことから、関係機関と協議しながら、整備の促進を図ります。
- 朝夕の通勤時間帯における著しい渋滞を解消する道路整備を検討します。

③ 都市計画道路の見直し等の方針

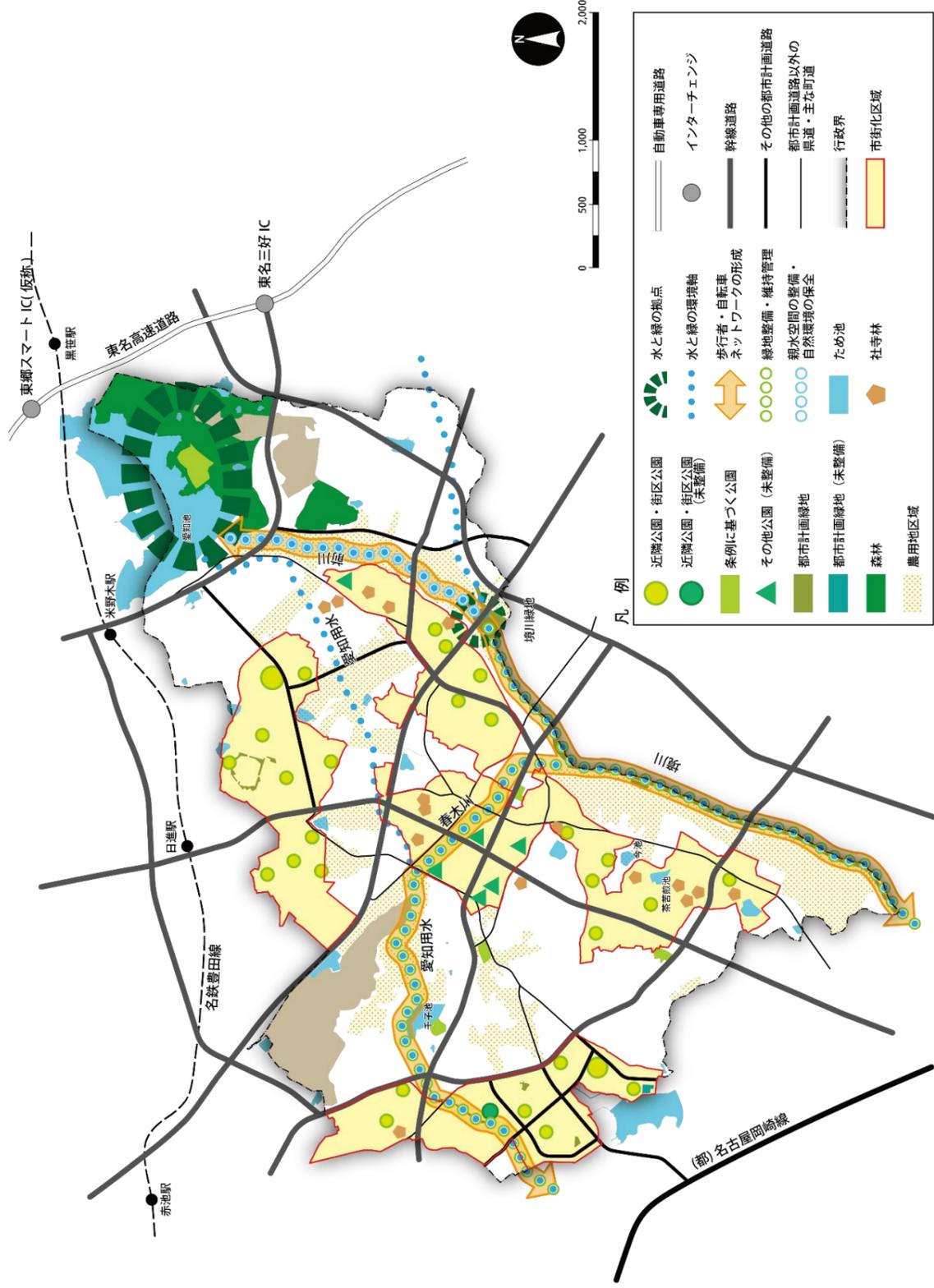
- 都市計画道路については、社会経済情勢の変化に対応する等、関係機関と協議しながら、必要に応じて見直しを検討します。

④ 生活道路の整備方針

- 狭あい道路や行き止まり道路については、沿道建物の建替えにあわせた拡幅整備等、防災性及び交通安全性の向上に向けて効率的な整備を進めるとともに、通過交通を排除するための対策を図ります。

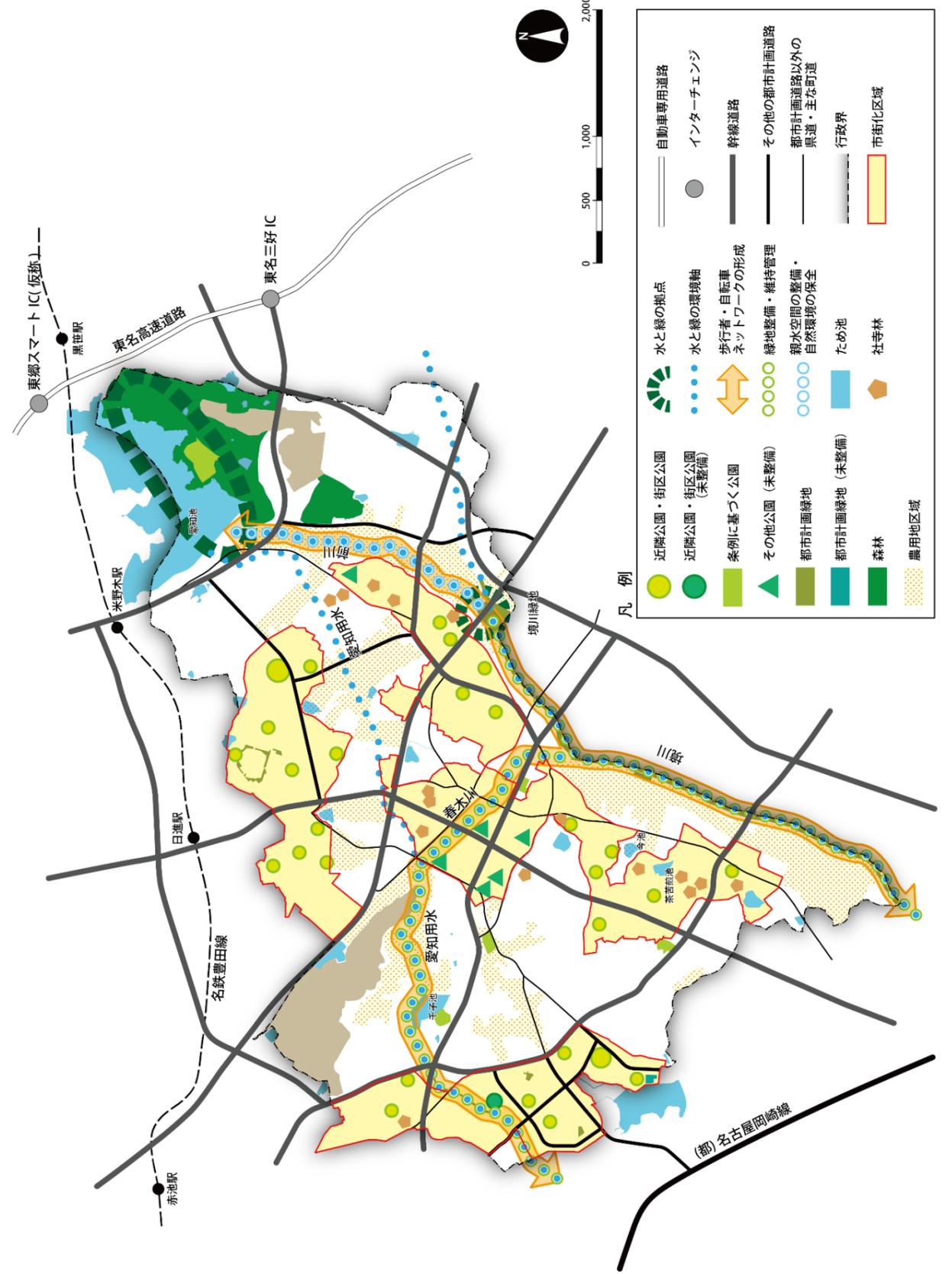
旧

【公園・緑地等の整備・保全等の方針図】



新

【公園・緑地等の整備・保全等の方針図】



将来都市像・都市づくりの方針（まとめ）

将来都市像

■将来都市像

人・まち・みどり ずっと暮らしたい とうごう

■目標年次=令和12年度（2030年度）
■将来人口の見通し=約45,700人
（目標年次時点まで人口は増加傾向を維持）

都市づくりの目標

【目標Ⅰ】
まちの魅力や活力を向上させ、持続していけるまち

■東郷セントラル地区を中心とした、賑わいと多様な交流のある都市拠点の形成
■地域特性を活かした、都市基盤としての産業拠点の形成

【目標Ⅱ】
コンパクト+ネットワークによる利便性に富んだ暮らしやすいまち

■都市拠点・地域生活拠点を中心に都市機能が集約した、コンパクトなまち
■公共交通により拠点や地域がつながれ、過度に自動車に依存しないで移動できるまち

【目標Ⅲ】
誰もが住みたい・住み続けたいまち

■良好な居住環境の整備により快適な暮らしができるまち
■多様な人や多世代が交流できるまち
■優れた自然環境・田園環境と調和した水と緑があふれる魅力あるまち

【目標Ⅳ】
誰もが安心して暮らせるまち

■大規模自然災害や市街地における都市型災害を防ぐ、災害に強いまち
■交通安全・防犯等により安心して暮らせるまち

将来都市像図

※番号は左の図中の番号と対応

拠点・地区名	番号※	拠点形成の考え方（要約）
都市拠点	東郷セントラル地区 ①	多様な都市機能が集約する町の中心核にふさわしい拠点 町民の交流と交通の中心 緑あふれる環境に配慮した都市拠点
地域生活拠点	白鳥地区 ②	商業施設等の既存ストックを活用した日常的な生活サービス機能の提供
	部田山地区 ③	日常的な生活サービス機能のさらなる維持・充実
	祐福寺地区 ④	商業施設等の既存ストックを活用した日常的な生活サービス機能の提供
産業拠点 （工業系・研究開発系）	蹟輪地区 ⑤	歴史・文化資源や日常生活を支える都市機能と連携した子育て世代等が住みやすい住環境の整備
	⑥	工業系・研究開発系の先進的で多様な産業機能が集積する拠点の形成
水と緑の拠点	⑦	豊かな水環境を守りつつ、周辺開発との調和をもって自然と人との共生を図る

土地利用の方針 **交通体系の整備方針** **公園緑地の整備方針**

市街地整備の方針 **安全安心なまちづくりの方針** **安全安心なまちづくりの方針** **その他の都市施設整備の方針**

市街地整備の方針

市街化区域内

- 土地区画整理事業による市街地整備が完了している地区における良好な住環境と都市基盤施設の維持・保全
- 重点的な市街地整備がされていない地区においては、地区計画の活用等により、生活道路の改善や身近な公園・広場の整備を進め、地域の特性にあった良好な市街地の形成

市街地調整区域

- 点在する既存集落における身近な道路等の居住環境整備に努め、安全に安心して暮らすことができる生活空間の確保

安全安心なまちづくりの方針

安全な市街地形成

- 災害に強い市街地の形成（耐震化、施設の長寿命化、防火水備の適正配置等）
- 幹線道路の整備（第1次・第2次緊急輸送道路の整備、町道等の生活道路の整備）
- 公園・緑地等の整備（遊戯場等としての公園整備、防災に役立つ緑地の整備）
- 河川等の整備（調整池の築造等）
- 地域防災体制の充実（ハザードマップの充実）

安心して暮らせる環境形成

- 防犯対策（防犯灯、防犯カメラ等の管理）
- 交通事故防止対策（生活道路への通過交通排除、速度抑制、通学路の安全対策等）

安全安心なまちづくりの方針

水と緑の自然・田園景観の保全

- 開発行為に対する適切な指導を行うことにより、虫食いの開発を抑制
- 農業の担い手育成による耕作放棄地の解消や農業基盤の充実
- 個性と秩序ある市街地景観の形成
- 歴史的風景や景観の維持・保全
- 住宅地のゆとりとあふれる景観の形成・維持
- 東郷セントラル地区における歩いて楽しく、にぎわいや活気の感じられる景観の形成

その他の都市施設整備の方針

公共下水道整備の推進

- 市街化区域内の未整備地区の整備推進
- ライフサイクルコストの低減等、戦略的な維持・修繕

雨水処理機能の向上

- 総合治水対策を進め、雨水の流出抑制を促進
- 農業用ため池の保全・管理

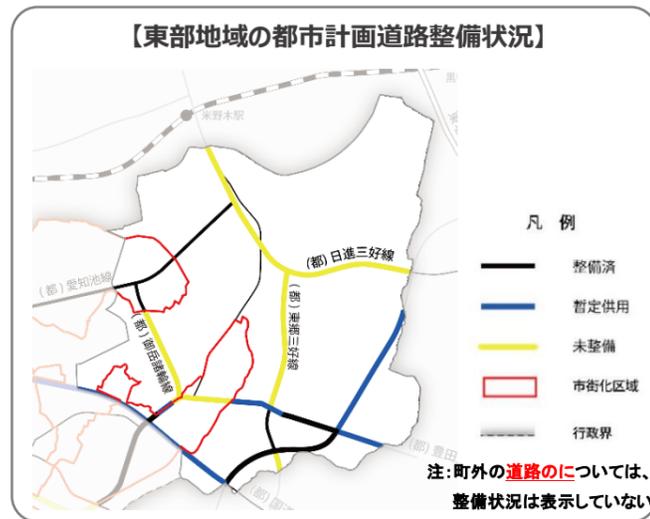
河川整備

- 境川流域の浸水被害対策、準用河川の治水機能強化、河川改修や調整池築造による浸水区域解消

別紙①

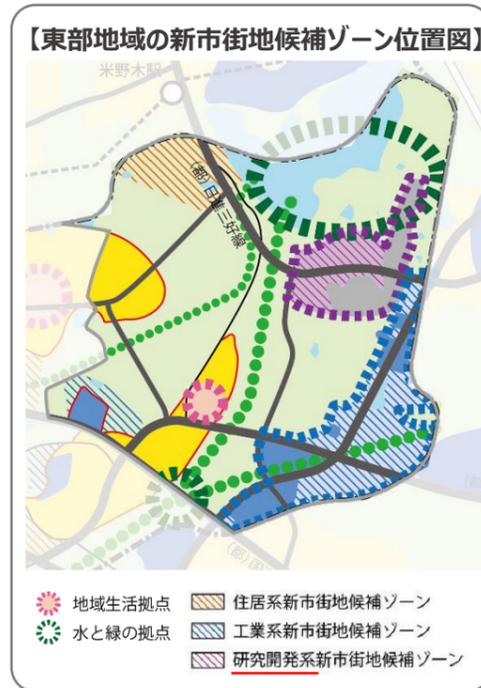
旧

■既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した取組を検討する必要があります。



新市街地候補ゾーン実現化の検討

- 住居系新市街地候補ゾーンとして位置付けた愛知池西側の市街化調整区域については、町全体の当面の人口増加に対応し、今後の住宅地需要、面的整備に向けた事業熟度、市街化区域内の低未利用地の活用等を踏まえながら、計画的に住宅地形成を図ることが必要です。
- 地域南部や諸輪工業団地周辺の工業系新市街地候補ゾーン、名古屋大学東郷農場周辺の研究開発系新市街地候補ゾーンについては、周辺の農地や集落地との環境上の調和に配慮しつつ、その形成に向けて、地域の持つさまざまな利活用の可能性を踏まえ、工業系機能、流通業務系機能や研究開発系機能を主体とした土地利用を促進することが必要です。



(3) 地域のまちづくり目標

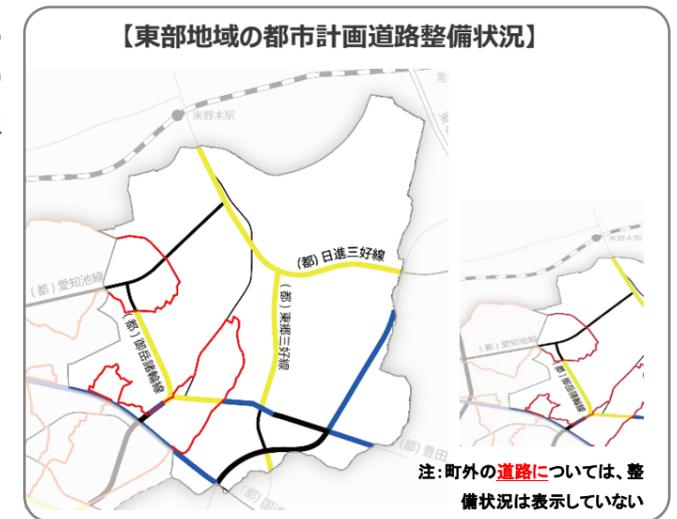
豊かな自然と新たな産業活力が調和した
誰もが快適に暮らせるまち

本地域では、愛知池周辺に広がる森林等を始め豊かな自然を守り、育み、活用しながら、新たな産業による活力や住みよい環境の創出を目指します。

また、交通環境の改善等に取り組み、高齢者を始め誰もが快適に暮らしやすいまちを目指します。

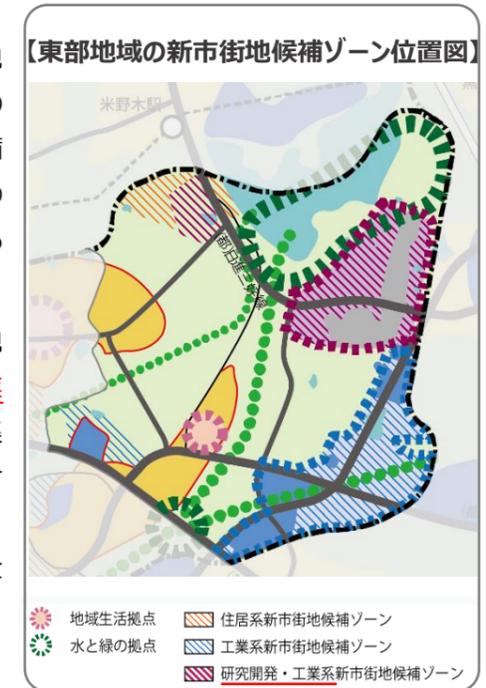
新

■既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した取組を検討する必要があります。



新市街地候補ゾーン実現化の検討

- 住居系新市街地候補ゾーンとして位置付けた愛知池西側の市街化調整区域については、町全体の当面の人口増加に対応し、今後の住宅地需要、面的整備に向けた事業熟度、市街化区域内の低未利用地の活用等を踏まえながら、計画的に住宅地形成を図ることが必要です。
- 地域南部や諸輪工業団地周辺の工業系新市街地候補ゾーン、(都)日進三好線沿線の研究開発・工業系新市街地候補ゾーンについては、周辺の農地や集落地との環境上の調和に配慮しつつ、その形成に向けて、地域の持つさまざまな利活用の可能性を踏まえ、工業系機能、流通業務系機能や研究開発系機能を主体とした土地利用を促進することが必要です。



(3) 地域のまちづくり目標

豊かな自然と新たな産業活力が調和した
誰もが快適に暮らせるまち

本地域では、愛知池周辺に広がる森林等を始め豊かな自然を守り、育み、活用しながら、新たな産業による活力や住みよい環境の創出を目指します。

また、交通環境の改善等に取り組み、高齢者を始め誰もが快適に暮らしやすいまちを目指します。

広域的交通体系と身近な交通環境の整備推進のために

- ▶ (都)日進三好線、(都)豊田知立バイパス線、(都)東郷三好線等の都市計画道路については、関係機関と協議しながら整備の促進を図ります。
- ▶ ボトルネック交差点*等の改善や道路舗装の修繕を計画的に進めます。
- ▶ バス路線やダイヤ設定、近隣市との連携等、東郷町巡回バスの利用しやすい環境づくりを進めます。また、誰にでも使いやすい車両や施設（バス停等）の改善を図るとともに、バリアフリー化を進めます。
- ▶ 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した新たな取組を検討します。
- ▶ 前川等の水と緑の環境軸を中心に河川空間を活用して、歩行者・自転車ネットワークの形成を図ります。

住居系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために

- ▶ 愛知池西側の市街化調整区域については、日進市の米野木駅に近接する利便性を生かし、新たな住宅市街地として整備を進めます。
- ▶ 諸輪東部の工場等集積地周辺の市街化調整区域は、営農環境や自然環境との調和に十分留意し、地域の活性化に資する工業系土地利用を主体とした工場や先端業種等の新たな産業立地による土地利用を促進します。
- ▶ 諸輪工業団地周辺等の市街化調整区域においては、工場等の操業環境の維持・保全を図りつつ、今後も産業機能の集積を図るため、既存団地の拡大による土地利用を促進します。
- ▶ 名古屋大学東郷農場周辺の市街化調整区域は、既存の研究施設等と連携しながら、研究開発の拠点として東郷町の産業をリードする新たな研究開発型産業機能の立地を誘導します。
- ▶ これらの新市街地ゾーンについては、地域の持つさまざまな利活用の可能性に配慮して検討します。

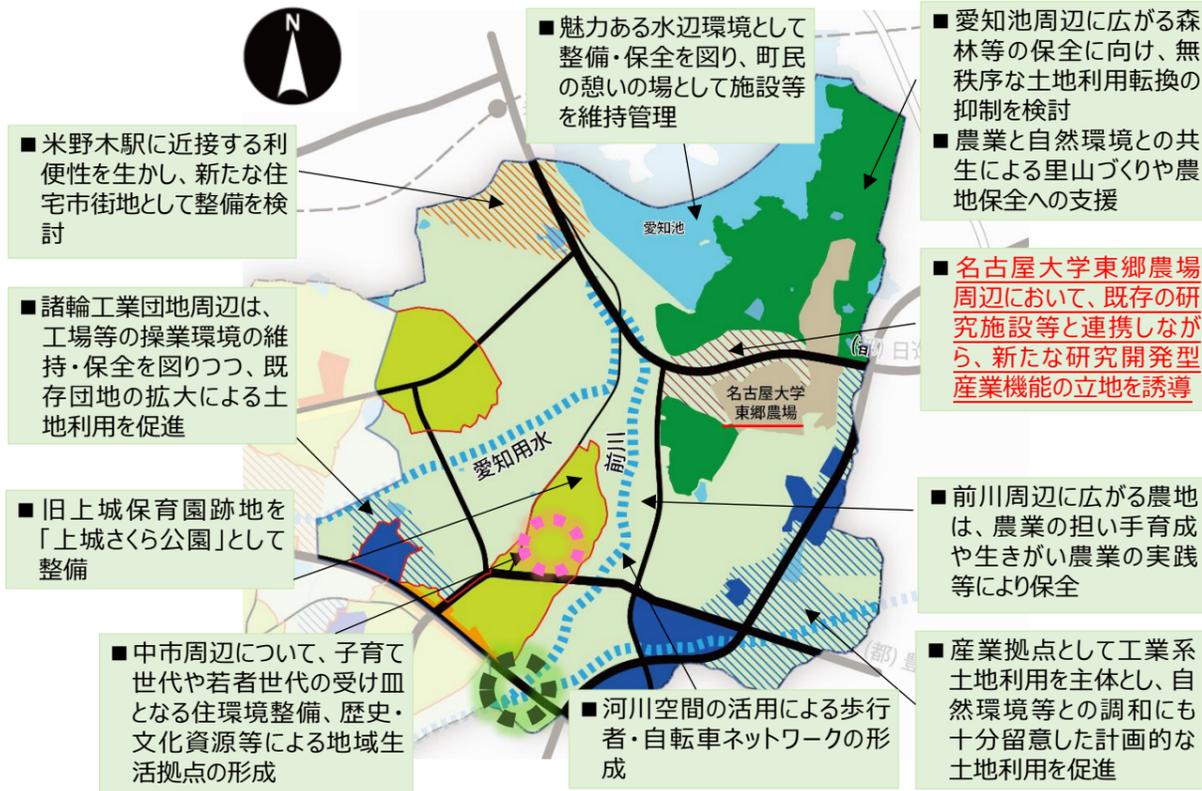
広域的交通体系と身近な交通環境の整備推進のために

- ▶ (都)日進三好線、(都)豊田知立バイパス線、(都)東郷三好線等の都市計画道路については、関係機関と協議しながら整備の促進を図ります。
- ▶ ボトルネック交差点*等の改善や道路舗装の修繕を計画的に進めます。
- ▶ バス路線やダイヤ設定、近隣市との連携等、東郷町巡回バスの利用しやすい環境づくりを進めます。また、誰にでも使いやすい車両や施設（バス停等）の改善を図るとともに、バリアフリー化を進めます。
- ▶ 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した新たな取組を検討します。
- ▶ 前川等の水と緑の環境軸を中心に河川空間を活用して、歩行者・自転車ネットワークの形成を図ります。

住居系・工業系及び研究開発・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために

- ▶ 愛知池西側の市街化調整区域については、日進市の米野木駅に近接する利便性を生かし、新たな住宅市街地又は研究開発・工業系新市街地として整備を進めます。
- ▶ 諸輪東部の工場等集積地周辺の市街化調整区域は、営農環境や自然環境との調和に十分留意し、地域の活性化に資する工業系土地利用を主体とした工場や先端業種等の新たな産業立地による土地利用を促進します。
- ▶ 諸輪工業団地周辺等の市街化調整区域においては、工場等の操業環境の維持・保全を図りつつ、今後も産業機能の集積を図るため、既存団地の拡大による土地利用を促進します。
- ▶ (都)日進三好線沿線の市街化調整区域は、名古屋大学東郷フィールド等の既存の研究施設等と連携しながら、愛知池とその周辺の自然環境を活かした緑と産業が調和した魅力あるまちづくりを目指し、産業力の強化及び地域の産業振興等を図ります。
- ▶ これらの新市街地ゾーンについては、地域の持つさまざまな利活用の可能性に配慮して検討します。

【東部地域のまちづくり方針図】



凡例



【地域全体】

土地利用

- 幹線道路の沿道等を中心に、日常的な買い物ができる施設を誘導するため用途地域の見直しを検討し、小規模な店舗等の日常的な生活利便施設の立地を促進
- 耕作放棄地等の解消を図り、農地の適正な利用集積と豊かな田園環境を保全
- 交流を促すコミュニティ施設の整備を支援、子育て支援の拠点となる児童館等の維持・保全、整備の継続

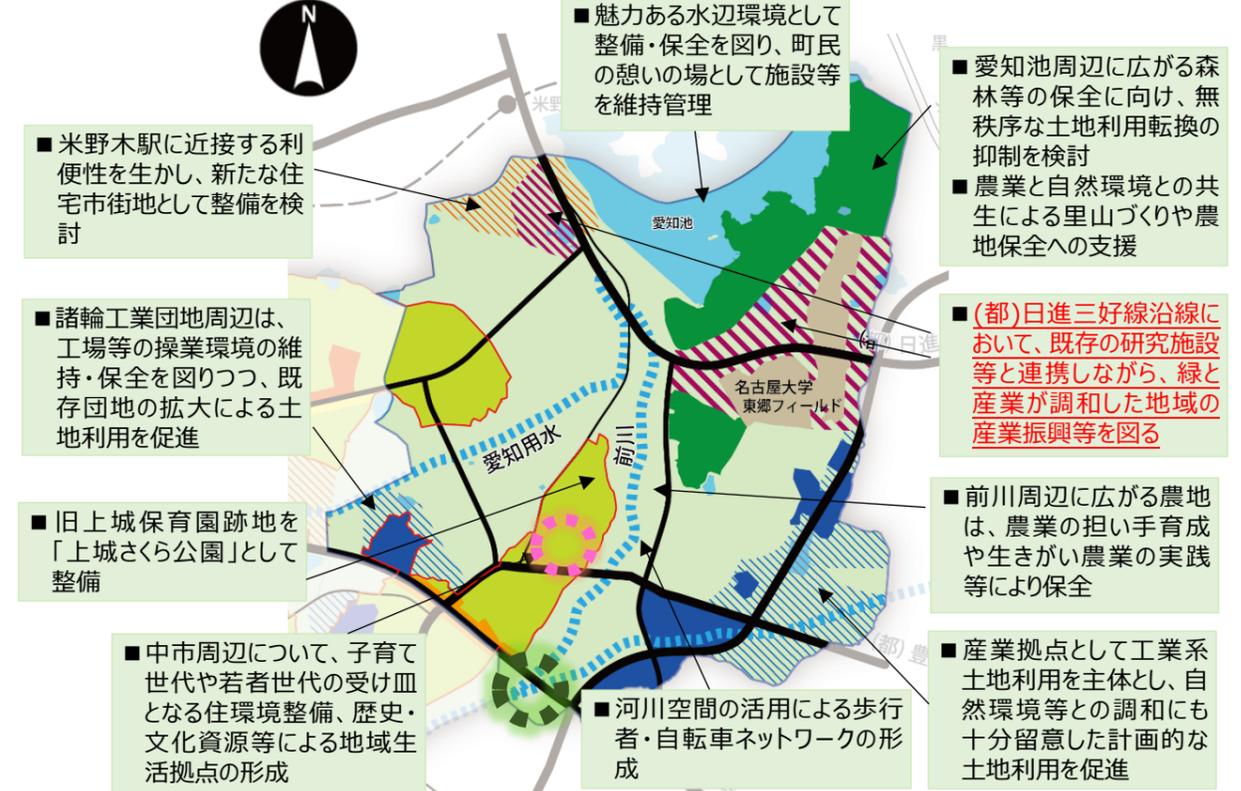
その他

- 空き家や公共公益施設の活用による町民の交流、子どもを中心としたコミュニティ活動等、多様な交流活動の取組を促進するための支援
- 東部地域の小中学校では施設の長寿命化や人荷用エレベーターの改修等バリアフリー化を目的に老朽化した学校施設を整備
- 消防団詰所の改修・建替えや耐震性貯水槽の新設、消防水利の整備、防災倉庫の改修・設置

道路・公共交通

- (都)日進三好線、(都)豊田知立バイパス線、(都)東郷三好線等の都市計画道路については、関係機関と協議しながら整備の促進を図る。
- ボトルネック交差点等の改善、道路舗装の修繕を計画的に推進
- 生活道路の整備・改修を推進
- 歩道の整備や歩道での段差解消
- 集落内に通過交通が流入しないよう、周辺幹線道路の整備や交通規制等、適切な交通処理を推進
- 巡回バスの利用しやすい環境づくり、誰にでも使いやすい車両や施設（バス停等）の改善を図るとともに、バリアフリー化を推進
- 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した取組を検討

【東部地域のまちづくり方針図】



凡例



【地域全体】

土地利用

- 幹線道路の沿道等を中心に、日常的な買い物ができる施設を誘導するため用途地域の見直しを検討し、小規模な店舗等の日常的な生活利便施設の立地を促進
- 耕作放棄地等の解消を図り、農地の適正な利用集積と豊かな田園環境を保全
- 交流を促すコミュニティ施設の整備を支援、子育て支援の拠点となる児童館等の維持・保全、整備の継続

その他

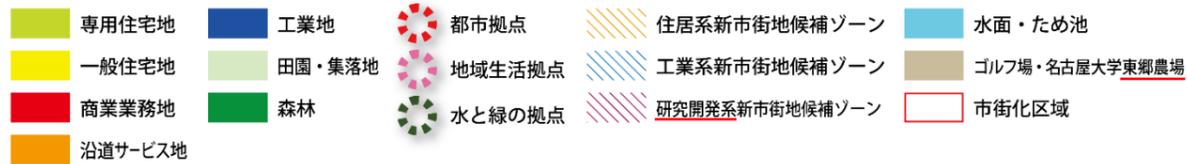
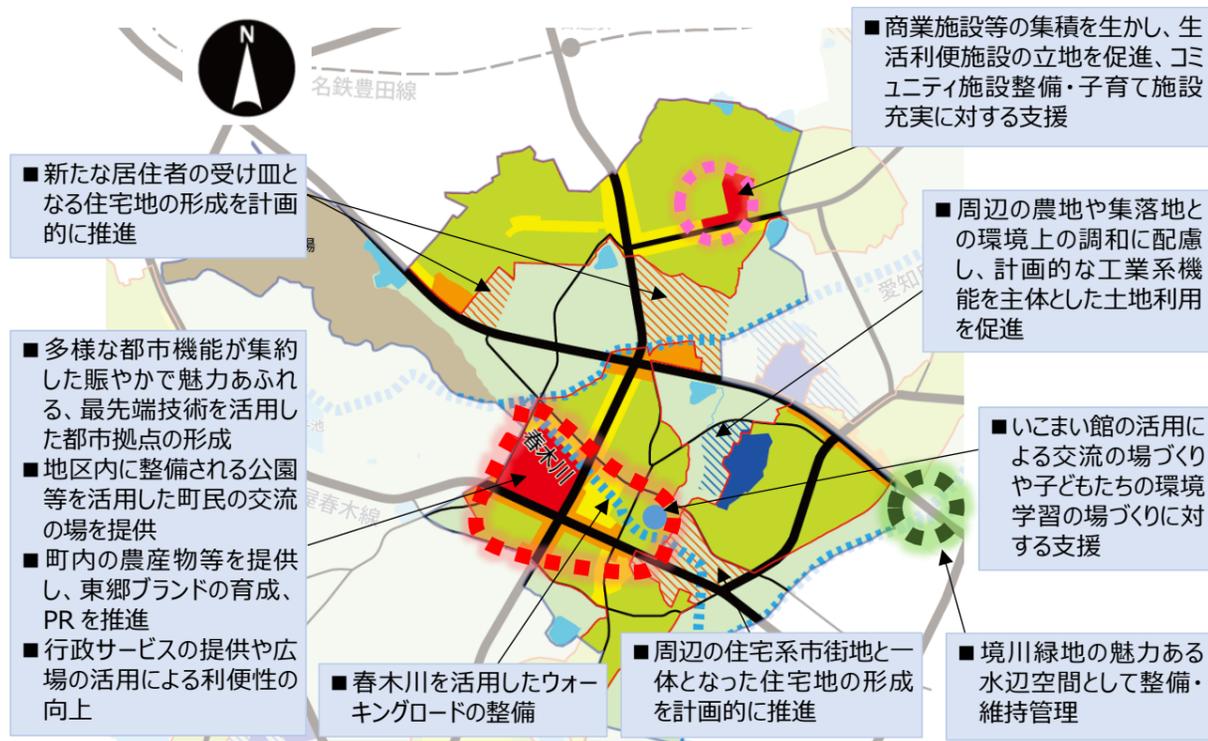
- 空き家や公共公益施設の活用による町民の交流、子どもを中心としたコミュニティ活動等、多様な交流活動の取組を促進するための支援
- 東部地域の小中学校では施設の長寿命化や人荷用エレベーターの改修等バリアフリー化を目的に老朽化した学校施設を整備
- 消防団詰所の改修・建替えや耐震性貯水槽の新設、消防水利の整備、防災倉庫の改修・設置

道路・公共交通

- (都)日進三好線、(都)豊田知立バイパス線、(都)東郷三好線等の都市計画道路については、関係機関と協議しながら整備の促進を図る。
- ボトルネック交差点等の改善、道路舗装の修繕を計画的に推進
- 生活道路の整備・改修を推進
- 歩道の整備や歩道での段差解消
- 集落内に通過交通が流入しないよう、周辺幹線道路の整備や交通規制等、適切な交通処理を推進
- 巡回バスの利用しやすい環境づくり、誰にでも使いやすい車両や施設（バス停等）の改善を図るとともに、バリアフリー化を推進
- 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した取組を検討

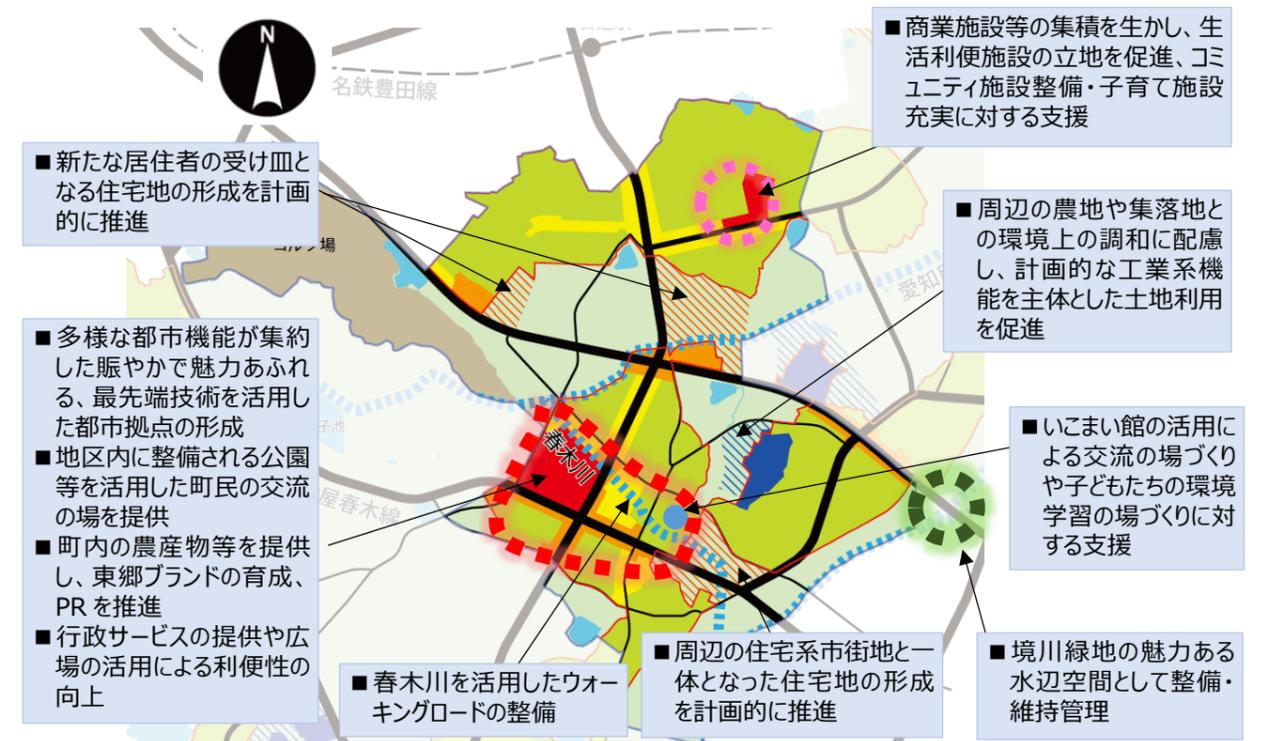
旧

【中部地域のまちづくり方針図】



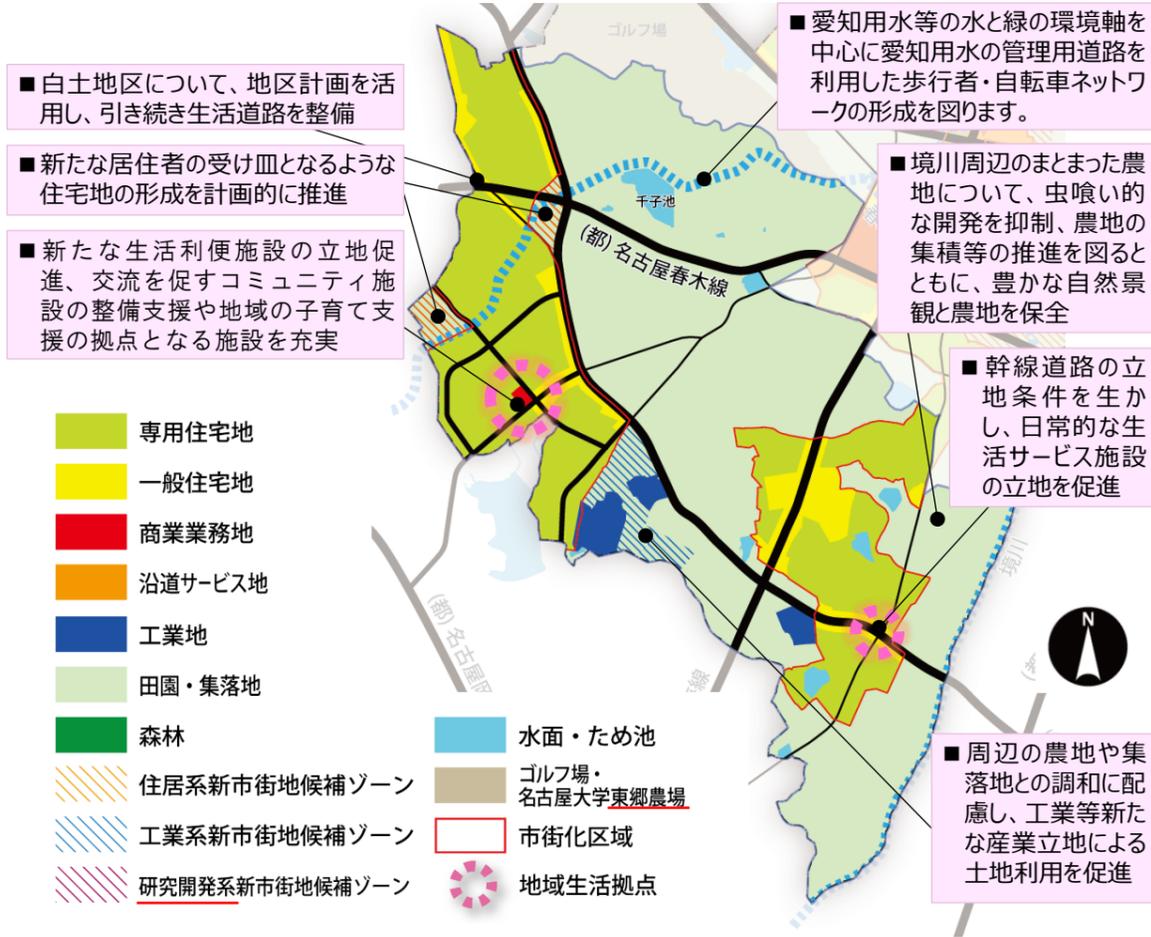
新

【中部地域のまちづくり方針図】



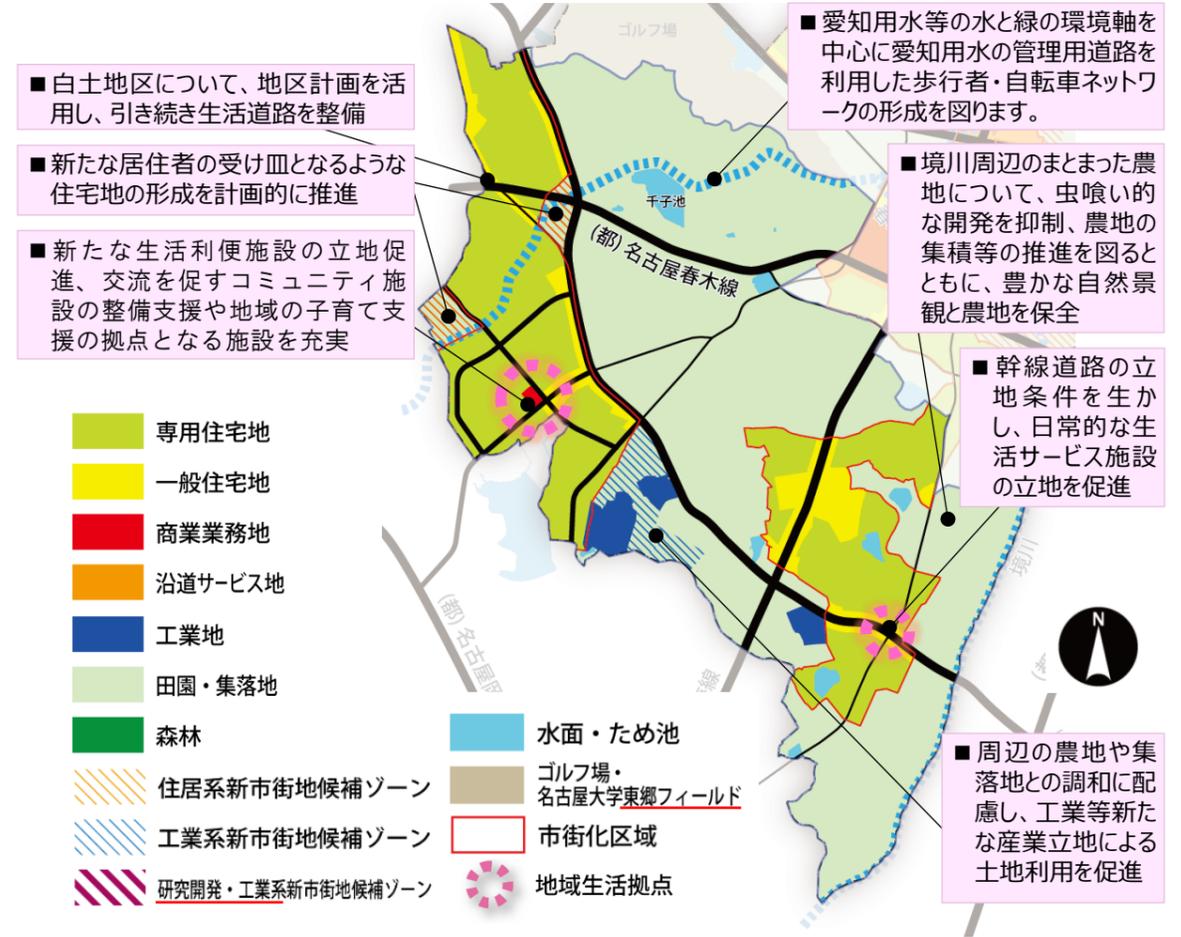
旧

【西部地域のまちづくり方針図】



新

【西部地域のまちづくり方針図】



地域別構想 地域ごとのまちづくり目標・方針の整理（まとめ）

	東部地域	中部地域	西部地域
全体構想のうち地域別構想で留意すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> 唯一、産業拠点としての位置付け 米野木駅周辺地域を良好な住宅街地としての整備を検討 居住系・工業系・研究開発系新市街地候補ゾーン (都) 豊田知立バイパス線暫定供用区間 (都) 豊田東郷線未整備区間・暫定供用区間 (都) 御岳諸輪線、東郷三好線、日進三好線未整備 	<ul style="list-style-type: none"> 東郷セントラル地区の開発による都市拠点としての位置付け 居住系・工業系新市街地候補ゾーン (都) 豊田東郷線未整備区間 (都) 国道153号バイパス線暫定供用区間 (都) 名古屋春木線未整備区間・暫定供用区間 	<ul style="list-style-type: none"> 居住系・工業系新市街地候補ゾーン (都) 名古屋三好線未整備区間・暫定供用区間 (都) 名古屋春木線未整備
町民アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> 町全体と比較して、「日常生活（通勤・通学・買い物）の利便性」、「バスなどの公共交通機関の利用しやすさ」で不満足が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 町全体と比較して、「コミュニティや地域の人のつながりの強さ」、「公民館など地区の集会施設の利用しやすさ」で不満足が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 町全体と比較して、「住まい周辺の道路の整備状況」、「歩行者に対する安全性・歩きやすさ」で不満足が高い。
第3回まちづくり会議の意見	<p>大切に思うキーワード※1</p> <ul style="list-style-type: none"> 住みやすく快適な住環境（14点） 利便性の高い都市環境（10点） 地縁・コミュニティの繋がりが（10点） 豊かな自然環境（9点） <p>まちづくり目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い年代が支え合い、コミュニティを形成する等の意見が多い。 【回答の一例】※類似した趣旨の回答はまとめて記述しています 安心安全な移動の確保 <ul style="list-style-type: none"> 中高齢者を地域で支えるコミュニティづくり 地域資源を活用したまちづくり 幼児から老人まで自家用車なしで暮らせるまち 等 	<ul style="list-style-type: none"> 利便性の高い都市環境（12点） 住みやすく快適な住環境（7点） 豊かな自然環境（6点） どこへ行くにも便利な公共交通（4点） <p>東郷セントラル地区の拠点に関するキーワードとともに、安心安全を目標とする意見が多い。 【回答の一例】※類似した趣旨の回答はまとめて記述しています</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然を守り、セントラル地区を中心に子ども、高齢者が安全に暮らせる地域 安心安全に暮らせるまちづくり 笑顔で集う明るいまち 等 	<ul style="list-style-type: none"> 住みやすく快適な住環境（10点） 利便性の高い都市環境（7点） 地縁・コミュニティの繋がりが（7点） 地域固有の歴史・文化的資源（6点） <p>住みやすい環境、コミュニティの繋がりが、安全安心に関する意見が多い。 【回答の一例】※類似した趣旨の回答はまとめて記述しています</p> <ul style="list-style-type: none"> 人と人の強いつながり 住み良い町、老若男女が居心地の良い環境 繋がれよう「安全、安心、快適」な街づくり 老後、車がなくても住める町 等
まちづくり目標の見直し視点	<ul style="list-style-type: none"> 産業活力のキーワードは残しつつ、町民アンケートやまちづくり会議のご意見を踏まえ、「快適な住環境」や「交通環境の改善」といったキーワードを加えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市拠点である東郷セントラル地区の整備が進んでいることから、「賑わい、魅力、便利」といったキーワードを加えます。一方でまちづくり会議のご意見を踏まえ、「安心」も明記します。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のニーズが高い「交通環境の改善」「安全」といったキーワードを加えます。また本地域の強みである「人々の交流（コミュニティ）」といったキーワードも明記します。
本計画における地域別まちづくり目標	<p>豊かな自然と新たな産業活力が調和した誰もが快適に暮らせるまち</p> <p>本地域では、愛知池周辺に広がる森林等を始め豊かな自然を守り、育み、活用しながら、新たな産業による活力や住みよい環境の創出を目指します。また、交通環境の改善等に取り組み、高齢者を始め誰もが快適に暮らしやすいまちを目指します。</p>	<p>賑わいと魅力を創出し、多くの人交流する安心・便利な暮らしのあるまち</p> <p>本地域では、今住んでいる人たちが今後とも住み続けたいと思えるとともに、新たな居住者が移り住みたくするような、町の中心核にふさわしい賑わいと魅力あるまちを目指します。また、人口の増加を想定し、新旧の町民や来街者との生き生きとした交流がある、安心、便利に暮らせるまちを目指します。</p>	<p>自然・文化を通じた多世代交流と安全・快適な暮らしのあるまち</p> <p>本地域では、地域固有の自然資源や文化資源を通じて本地域に移り住んだ若い人たちが高齢者までが交流し繋がりを育むことができるまちを目指します。こうした地域資源を活用した魅力の向上やコミュニティの形成にあわせ、交通環境の改善等の都市整備を進め、安全・快適に暮らせることができるまちを目指します。</p>
地域のまちづくり方針	<ul style="list-style-type: none"> 愛知池や田園景観等の自然環境の保全と既存市街地との調和のために 諸輪地区等の市街化区域内の市街地環境整備・維持のために 旧来からの市街化調整区域内集落の生活環境・コミュニティの維持のために 広域的交通体系と身近な交通環境の整備推進のために 居住系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために 	<ul style="list-style-type: none"> 東郷セントラル地区周辺を中心核の形成、白鳥地区の地域生活拠点の充実・改善のために 面的整備地区や旧来からの市街地の市街地環境整備・維持のために 町内をネットワークする公共交通の利便性の維持・改善のために 居住系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために 	<ul style="list-style-type: none"> 地域固有の自然環境や文化資源の保全と活用のために 面的整備地区や古くからの市街地や集落等、多様な市街地や集落の環境整備のために きめ細かくサービスする公共交通、快適に移動できる交通環境の維持・改善のために 地域を支えるコミュニティの維持のために 居住系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために

※1：第3回まちづくり会議において「大切に思うキーワード」は大切に思う順に選択する設問となっており、「最も大切」= 3点、「2番目に大切」= 2点、「3番目に大切」= 1点として点数化した結果をカッコ書きしている。

別紙②

■都市型災害

密集市街地における火災延焼等、都市化の発展により大規模化する災害、集中豪雨による内水氾濫等を指す。

■都市基盤施設

道路、鉄道、公園、下水道、河川等、生活や経済活動の基盤を形成する施設。

■都市計画区域

都市計画法その他の関係法令の適用を受けるべき土地の区域。具体的には市町村の中心市街地を含み、かつ、自然的・社会的条件人口・土地利用・交通量等の現況・推移を勘案して、一体の都市として総合的に整備、開発、保全する必要がある区域。

■都市公園

都市公園法に規定された公園又は緑地。

■土砂災害警戒区域

土砂災害のおそれがある土砂災害防止法に基づき指定された区域のこと。別名「イエローゾーン」

■土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域の中でも土砂災害が発生した場合、建築物の損壊や住民の生命に多大な影響を及ぼすおそれがあるとされる区域のこと。別名「レッドゾーン」

■土地区画整理事業

公共施設の整備改善及び宅地の利用の増進を図るため、土地の区画形質の変更及び公共施設の新設又は変更を行い、健全な市街地の造成を図る事業。

【な行】

■名古屋大学東郷農場

正式名称「名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド」本計画では「名古屋大学東郷農場」と表記する。

■農振農用地区域

農業振興地域の整備に関する法律（農振法）に基づき、優良農地の確保を中心とした総合的かつ計画的な農業の振興を目指すための制度を運用する区域。

■都市型災害

密集市街地における火災延焼等、都市化の発展により大規模化する災害、集中豪雨による内水氾濫等を指す。

■都市基盤施設

道路、鉄道、公園、下水道、河川等、生活や経済活動の基盤を形成する施設。

■都市計画区域

都市計画法その他の関係法令の適用を受けるべき土地の区域。具体的には市町村の中心市街地を含み、かつ、自然的・社会的条件人口・土地利用・交通量等の現況・推移を勘案して、一体の都市として総合的に整備、開発、保全する必要がある区域。

■都市公園

都市公園法に規定された公園又は緑地。

■土砂災害警戒区域

土砂災害のおそれがある土砂災害防止法に基づき指定された区域のこと。別名「イエローゾーン」

■土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域の中でも土砂災害が発生した場合、建築物の損壊や住民の生命に多大な影響を及ぼすおそれがあるとされる区域のこと。別名「レッドゾーン」

■土地区画整理事業

公共施設の整備改善及び宅地の利用の増進を図るため、土地の区画形質の変更及び公共施設の新設又は変更を行い、健全な市街地の造成を図る事業。

【な行】

■名古屋大学東郷フィールド

正式名称「名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド」本計画では「名古屋大学東郷農場」又は「名古屋大学東郷フィールド」と表記する。

■農振農用地区域

農業振興地域の整備に関する法律（農振法）に基づき、優良農地の確保を中心とした総合的かつ計画的な農業の振興を目指すための制度を運用する区域。

将来都市像

■ 将来都市像

人・まち・みどり ずっと暮らしたい とうごう

- 目標年次 = 令和 12 年度（2030 年度）
- 将来人口の見通し = 約 45,700 人
（目標年次時点まで人口は増加傾向を維持）

都市づくりの目標

【目標Ⅰ】

まちの魅力や活力を向上させ、持続していけるまち



- 東郷セントラル地区を中心とした、賑わいと多様な交流のある都市拠点の形成
- 地域特性を活かした、都市基盤としての産業拠点の形成

【目標Ⅱ】

コンパクト+ネットワークによる
利便性に富んだ暮らしやすいまち



- 都市拠点・地域生活拠点を中心に都市機能が集約した、コンパクトなまち
- 公共交通により拠点や地域がつながれ、過度に自動車に依存しないで移動できるまち

【目標Ⅲ】

誰もが住みたい・住み続けたいまち



- 良好な居住環境の整備により快適な暮らしができるまち
- 多様な人や多世代が交流できるまち
- 優れた自然環境・田園環境と調和した水と緑があふれる魅力あるまち

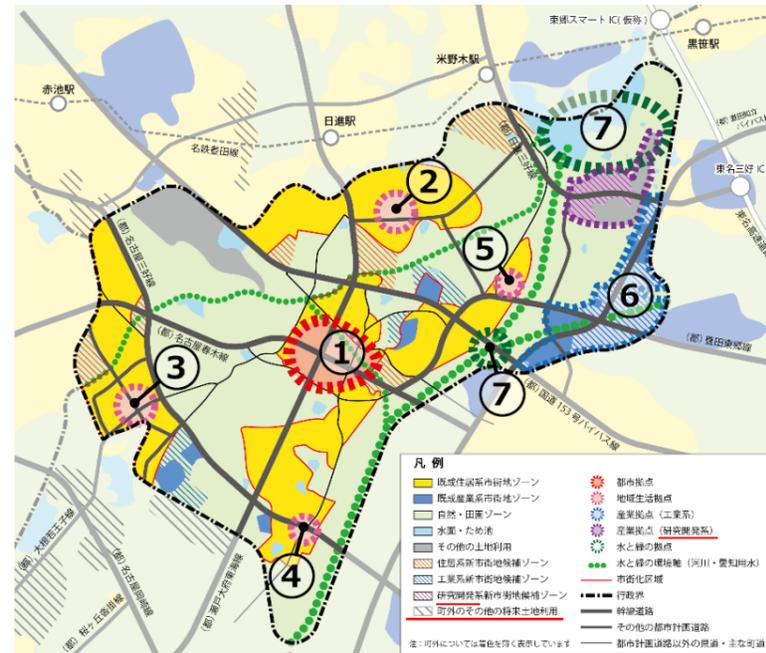
【目標Ⅳ】

誰もが安心して暮らせるまち



- 大規模自然災害や市街地における都市型災害を防ぐ、災害に強いまち
- 交通安全・防犯等により安心して暮らせるまち

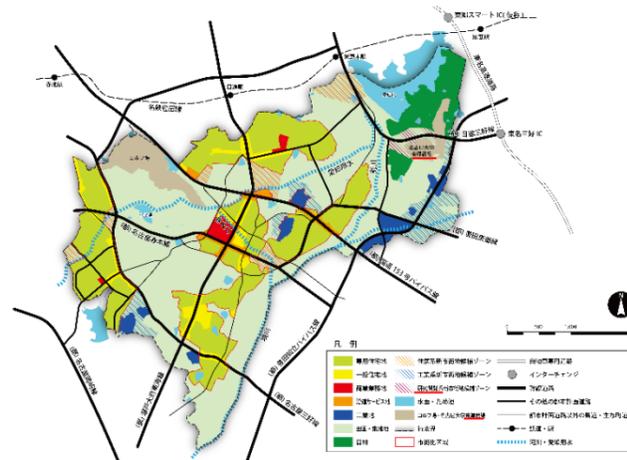
将来都市像図



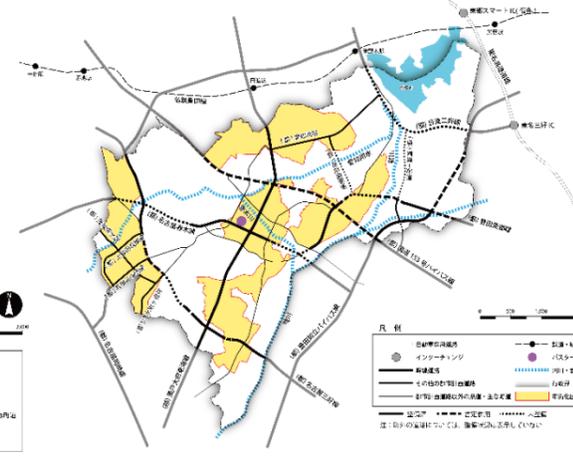
※番号は左の図中の番号と対応

拠点・地区名		番号※	拠点形成の考え方（要約）
都市拠点	東郷セントラル地区	①	多様な都市機能が集約する町の中心核にふさわしい拠点 町民の交流と交通の中心 緑あふれる環境に配慮した都市拠点
		②	商業施設等の既存ストックを活用した日常生活サービス機能の提供
地域生活拠点	白鳥地区	②	商業施設等の既存ストックを活用した日常生活サービス機能の提供
	部田山地区	③	日常生活サービス機能のさらなる維持・充実
	祐福寺地区	④	商業施設等の既存ストックを活用した日常生活サービス機能の提供
産業拠点 （工業系・研究開発系）	諸輪地区	⑤	歴史・文化資源や日常生活を支える都市機能と連携した子育て世代等が住みやすい住環境の整備
		⑥	工業系・研究開発系の先進的で多様な産業機能が集積する拠点の形成
水と緑の拠点		⑦	豊かな水環境を守りつつ、周辺開発との調和をもって自然と人との共生を図る

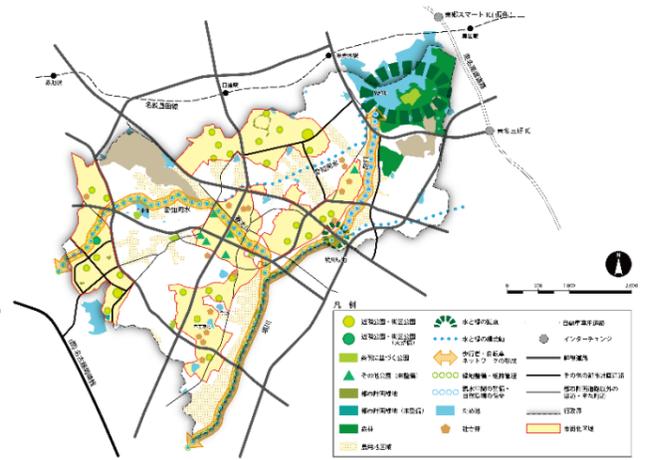
土地利用の方針



交通体系の整備方針



公園緑地の整備方針



市街地整備の方針

市街化区域内

- 土地区画整理事業による市街地整備が完了している地区における良好な住環境と都市基盤施設の維持・保全
- 面的な市街地整備がされていない地区においては、地区計画の活用等により、生活道路の改善や身近な公園・広場等の整備を進め、地域の特性にあった良好な市街地の形成

市街化調整区域

- 点在する既存集落における身近な道路等の居住環境整備に努め、安全に安心して暮らすことができる生活空間の確保

安全安心なまちづくりの方針

安全な市街地形成

- 災害に強い市街地の形成（耐震化、施設の長寿命化、防火水槽の適正配置等）
- 幹線道路の整備（第1次・第2次緊急輸送道路の整備、町道等の生活道路の整備）
- 公園・緑地等の整備（避難場所等としての公園整備、防災に役立つ緑地の整備）
- 河川等の整備（調整池の築造等）
- 地域防災体制の充実（ハザードマップの充実）

安心して暮らせる環境形成

- 防犯対策（防犯灯、防犯カメラ等の管理）
- 交通事故防止対策（生活道路への通過交通排除、速度抑制、通学路の安全対策等）

安全安心なまちづくりの方針

水と緑の自然・田園景観の保全

- 開発行為に対する適切な指導を行うことにより、虫食いの開発を抑制
- 農業の担い手育成による耕作放棄地の解消や農業基盤の充実
- 個性と秩序ある市街地景観の形成
- 歴史的風景や景観の維持・保全
- 住宅地の「ゆとり」と「うるおい」のある景観の形成・維持
- 東郷セントラル地区における歩いて楽しく、にぎわいや活気を感じられる景観の形成

その他の都市施設整備の方針

公共下水道整備の推進

- 市街化区域内の未整備地区の整備推進
- ライフサイクルコストの低減等、戦略的な維持・修繕
- 雨水処理機能の向上
- 総合治水対策を進め、雨水の流出抑制を促進
- 農業用ため池の保全・管理
- 河川整備
- 境川流域の浸水被害対策、準用河川の治水機能強化、河川改修や調整池築造による浸水区域解消

将来都市像・都市づくりの方針（まとめ）

将来都市像

■ 将来都市像

人・まち・みどり ずっと暮らしたい とうごう

- 目標年次 = 令和 12 年度（2030 年度）
- 将来人口の見通し = 約 45,700 人（目標年次時点まで人口は増加傾向を維持）

都市づくりの目標

【目標Ⅰ】

まちの魅力や活力を向上させ、持続していけるまち



- 東郷セントラル地区を中心とした、賑わいと多様な交流のある都市拠点の形成
- 地域特性を活かした、都市基盤としての産業拠点の形成

【目標Ⅱ】

コンパクト+ネットワークによる利便性に富んだ暮らしやすいまち



- 都市拠点・地域生活拠点を中心に都市機能が集約した、コンパクトなまち
- 公共交通により拠点や地域がつながれ、過度に自動車に依存しないまち

【目標Ⅲ】

誰もが住みたい・住み続けたいまち



- 良好な居住環境の整備により快適な暮らしができるまち
- 多様な人や多世代が交流できるまち
- 優れた自然環境・田園環境と調和した水と緑があふれる魅力あるまち

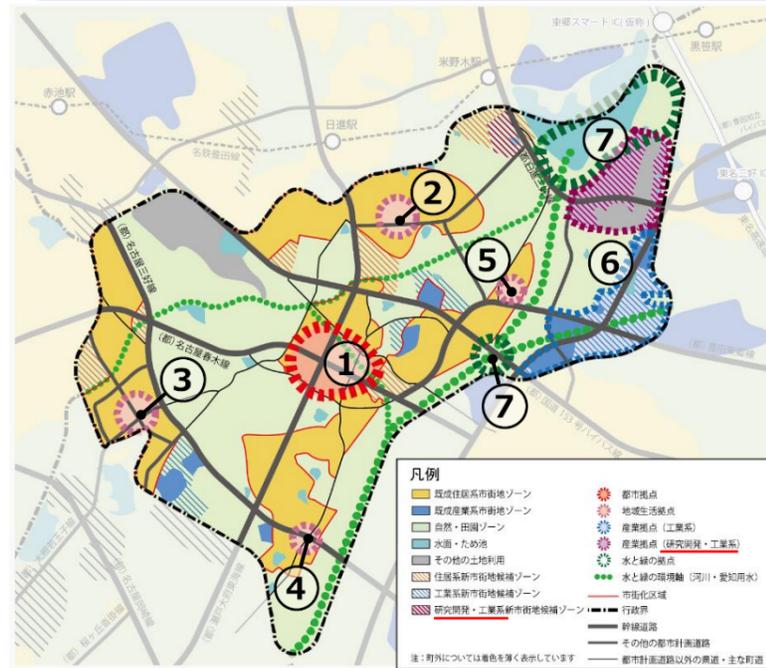
【目標Ⅳ】

誰もが安心して暮らせるまち



- 大規模自然災害や市街地における都市型災害を防ぐ、災害に強いまち
- 交通安全・防犯等により安心して暮らせるまち

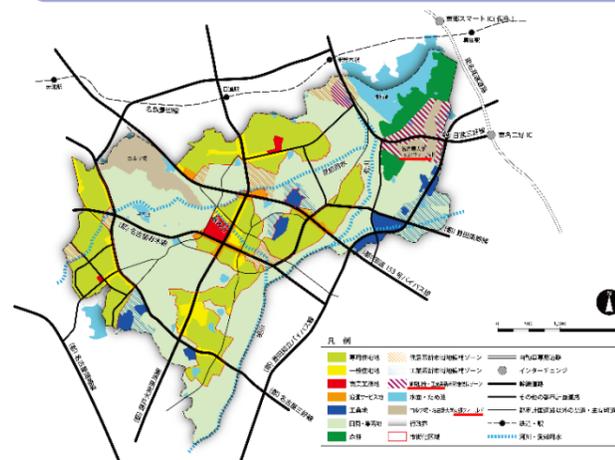
将来都市像図



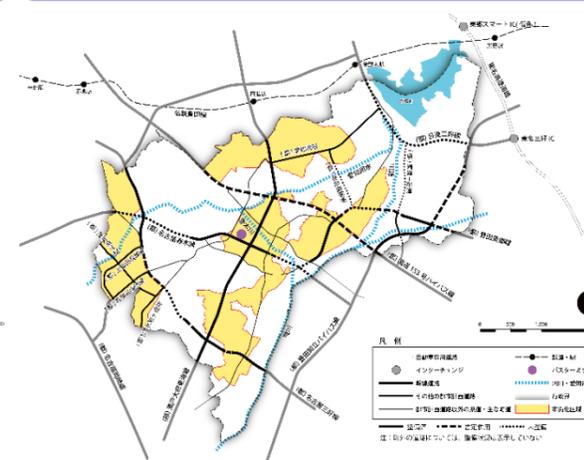
※番号は左の図中の番号と対応

拠点・地区名		番号※	拠点形成の考え方（要約）
都市拠点	東郷セントラル地区	①	多様な都市機能が集約する町の中心核にふさわしい拠点 町民の交流と交通の中心 緑あふれる環境に配慮した都市拠点
	白鳥地区	②	商業施設等の既存ストックを活用した日常的な生活サービス機能の提供
地域生活拠点	部田山地区	③	日常的な生活サービス機能のさらなる維持・充実
	祐福寺地区	④	商業施設等の既存ストックを活用した日常的な生活サービス機能の提供
	諸輪地区	⑤	歴史・文化資源や日常生活を支える都市機能と連携した子育て世代等が住みやすい住環境の整備
産業拠点 (工業系・研究開発・工業系)		⑥	工業系や研究開発・工業系の先進的で多様な産業機能が集積する拠点の形成
水と緑の拠点		⑦	豊かな水環境を守りつつ、周辺開発との調和をもって自然と人の共生を図る

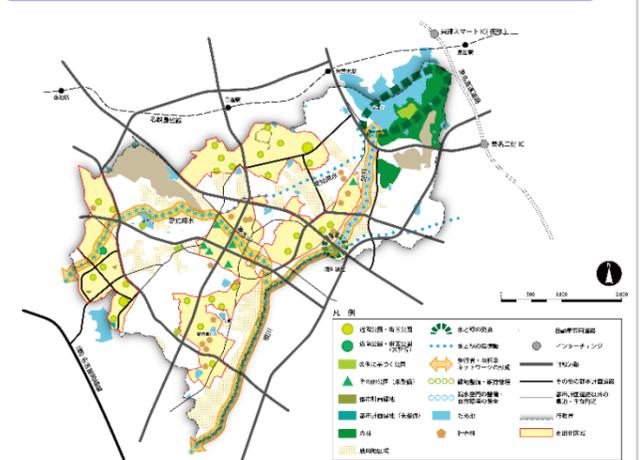
土地利用の方針



交通体系の整備方針



公園緑地の整備方針



市街地整備の方針

市街化区域内

- 土地区画整理事業による市街地整備が完了している地区における良好な住環境と都市基盤施設の維持・保全
- 面的な市街地整備がされていない地区においては、地区計画の活用等により、生活道路の改善や身近な公園・広場等の整備を進め、地域の特性にあった良好な市街地の形成

市街化調整区域

- 点在する既存集落における身近な道路等の居住環境整備に努め、安全に安心して暮らすことができる生活空間の確保

安全安心なまちづくりの方針

安全な市街地形成

- 災害に強い市街地の形成（耐震化、施設の長寿命化、防火水槽の適正配置等）
- 幹線道路の整備（第1次・第2次緊急輸送道路の整備、町道等の生活道路の整備）
- 公園・緑地等の整備（避難場所等としての公園整備、防災に役立つ緑地の整備）
- 河川等の整備（調整池の築造等）
- 地域防災体制の充実（ハザードマップの充実）

安心して暮らせる環境形成

- 防犯対策（防犯灯、防犯カメラ等の管理）
- 交通事故防止対策（生活道路への通過交通排除、速度抑制、通学路の安全対策等）

安全安心なまちづくりの方針

水と緑の自然・田園景観の保全

- 開発行為に対する適切な指導を行うことにより、虫食いの開発を抑制
- 農業の担い手育成による耕作放棄地の解消や農業基盤の充実
- 個性と秩序ある市街地景観の形成
- 歴史的風景や景観の維持・保全
- 住宅地の「ゆとり」と「うるおい」のある景観の形成・維持
- 東郷セントラル地区における歩いて楽しく、にぎわいや活気を感じられる景観の形成

その他の都市施設整備の方針

公共下水道整備の推進

- 市街化区域内の未整備地区の整備推進
- ライフサイクルコストの低減等、戦略的な維持・修繕

雨水処理機能の向上

- 総合治水対策を進め、雨水の流出抑制を促進
- 農業用ため池の保全・管理

河川整備

- 境川流域の浸水被害対策、準用河川の治水機能強化、河川改修や調整池築造による浸水区域解消

地域別構想 地域ごとのまちづくり目標・方針の整理（まとめ）

		東部地域	中部地域	西部地域
全体構想のうち地域別構想で留意すべき事項		<ul style="list-style-type: none"> ■ 唯一、産業拠点としての位置付け ■ 米野木駅周辺地域を良好な住宅市街地としての整備を検討 ■ 居住系・工業系・研究開発系新市街地候補ゾーン ■ (都) 豊田知立バイパス線暫定供用区間 ■ (都) 豊田東郷線未整備区間・暫定供用区間 ■ (都) 御岳諸輪線、東郷三好線、日進三好線未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東郷セントラル地区の開発による都市拠点としての位置付け ■ 居住系・工業系新市街地候補ゾーン ■ (都) 豊田東郷線未整備区間 ■ (都) 国道 153 号バイパス線暫定供用区間 ■ (都) 名古屋春木線未整備区間・暫定供用区間 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 居住系・工業系新市街地候補ゾーン ■ (都) 名古屋三好線未整備区間・暫定供用区間 ■ (都) 名古屋春木線未整備
町民アンケート結果		<ul style="list-style-type: none"> ■ 町全体に比較して、「日常生活（通勤・通学・買い物）の利便性」、「バスなどの公共交通機関の利用しやすさ」で不満度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町全体に比較して、「コミュニティや地域の人とのつながりの強さ」、「公民館など地区の集会所の活用しやすさ」で不満度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町全体に比較して、「住まい周辺の道路の整備状況」、「歩行者に対する安全性・歩きやすさ」で不満度が高い。
第3回まちづくり会議の意見	大切だと思うキーワード※1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住みやすく快適な住環境（14点） ■ 利便性の高い都市環境（10点） ■ 地縁・コミュニティの繋がり（10点） ■ 豊かな自然環境（9点） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利便性の高い都市環境（12点） ■ 住みやすく快適な住環境（7点） ■ 豊かな自然環境（6点） ■ どこへ行くにも便利な公共交通（4点） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住みやすく快適な住環境（10点） ■ 利便性の高い都市環境（7点） ■ 地縁・コミュニティの繋がり（7点） ■ 地域固有の歴史・文化的資源（6点）
	まちづくり目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幅広い年代が支え合い、コミュニティを形成する等の意見が多い。 【回答の一例】 ※類似した趣旨の回答はまとめて記述しています ▶ 安心安全な移動の確保 ▶ 中高齢者を地域で支えるコミュニティづくり ▶ 地域資源を活用したまちづくり ▶ 幼児から老人まで自家用車なしで暮らせるまち 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東郷セントラル地区の拠点に関するキーワードとともに、安心安全を目標とする意見が多い。 【回答の一例】 ※類似した趣旨の回答はまとめて記述しています ▶ 豊かな自然を守り、セントラル地区を中心に子ども、高齢者が安全に暮らせる地域 ▶ 安心安全に暮らせるまちづくり ▶ 笑顔で集う明るいまち 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住みやすい環境、コミュニティの繋がり、安全安心に関する意見が多い。 【回答の一例】 ※類似した趣旨の回答はまとめて記述しています ▶ 人と人の強いつながり ▶ 住み良い町、老若男女が居心地の良い環境 ▶ 繋げよう「安全、安心、快適」な街づくり ▶ 老後、車がなくても住める町 等
まちづくり目標の見直しの視点		<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業活力のキーワードは残しつつ、町民アンケートやまちづくり会議のご意見を踏まえ、「快適な住環境」や「交通環境の改善」といったキーワードを加えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市拠点である東郷セントラル地区の整備が進んでいることから、「賑わい、魅力、便利」といったキーワードを加えます。一方でまちづくり会議のご意見を踏まえ、「安心」も明記します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域のニーズが高い「交通環境の改善」「安全」といったキーワードを加えます。また本地域の強みである「人々の交流（コミュニティ）」といったキーワードも明記します。

本計画における地域別まちづくり目標	<p>豊かな自然と新たな産業活力が調和した誰もが快適に暮らせるまち</p> <p>本地域では、愛知池周辺に広がる森林等を始め豊かな自然を守り、育み、活用しながら、新たな産業による活力や住みよい環境の創出を目指します。また、交通環境の改善等に取り組み、高齢者を始め誰もが快適に暮らしやすいまちを目指します。</p>	<p>賑わいと魅力を創出し、多くの人交流する安心・便利な暮らしのあるまち</p> <p>本地域では、今住んでいる人たちが今後とも住み続けたいと思えるとともに、新たな居住者が移り住みたくなるような、町の中心核にふさわしい賑わいと魅力あるまちを目指します。また、人口の増加を想定し、新旧の町民や来街者との生き生きとした交流がある、安心、便利に暮らせるまちを目指します。</p>	<p>自然・文化を通じた多世代交流と安全・快適な暮らしのあるまち</p> <p>本地域では、地域固有の自然資源や文化資源を通じて本地域に移り住んだ若い人たちから高齢者までが交流し繋がりを育むことができるまちを目指します。こうした地域資源を活用した魅力の向上やコミュニティの形成にあわせ、交通環境の改善等の都市整備を進め、安全・快適に暮らすことができるまちを目指します。</p>
地域のまちづくり方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛知池や田園景観等の自然環境の保全と既存市街地との調和のために ● 諸輪地区等の市街化区域内の市街地環境整備・維持のために ● 旧来からの市街化調整区域内集落の生活環境・コミュニティの維持のために ● 広域的な交通体系と身近な交通環境の整備推進のために ● 住居系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東郷セントラル地区周辺の中心核の形成、白鳥地区の地域生活拠点の充実・改善のために ● 面的整備地区や旧来からの市街地の市街地環境整備・維持のために ● 町内をネットワークする公共交通の利便性の維持・改善のために ● 住居系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域固有の自然環境や文化資源の保全と活用のために ● 面的整備地区や古くからの市街地や集落等、多様な市街地や集落の環境整備のために ● きめ細かくサービスする公共交通、快適に移動できる交通環境の維持・改善のために ● 地域を支えるコミュニティの維持のために ● 住居系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために

※1：第3回まちづくり会議において「大切だと思うキーワード」は大切だと思う順に選択する設問となっており、「最も大切」= 3点、「2番目に大切」= 2点、「3番目に大切」= 1点として点数化した結果をカッコ書きしている。

地域別構想 地域ごとのまちづくり目標・方針の整理（まとめ）

		東部地域	中部地域	西部地域
全体構想のうち地域別構想で留意すべき事項		<ul style="list-style-type: none"> ■ 唯一、産業拠点としての位置付け ■ 米野木駅周辺地域を良好な住宅市街地及び研究開発・工業系新市街地としての整備を検討 ■ 住居系・工業系及び研究開発・工業系新市街地候補ゾーン ■ (都) 豊田知立バイパス線暫定供用区間 ■ (都) 豊田東郷線未整備区間・暫定供用区間 ■ (都) 御岳諸輪線、東郷三好線、日進三好線未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東郷セントラル地区の開発による都市拠点としての位置付け ■ 住居系・工業系新市街地候補ゾーン ■ (都) 豊田東郷線未整備区間 ■ (都) 国道 153 号バイパス線暫定供用区間 ■ (都) 名古屋春木線未整備区間・暫定供用区間 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住居系・工業系新市街地候補ゾーン ■ (都) 名古屋三好線未整備区間・暫定供用区間 ■ (都) 名古屋春木線未整備
町民アンケート結果		<ul style="list-style-type: none"> ■ 町全体に比較して、「日常生活（通勤・通学・買い物）の利便性」、「バスなどの公共交通機関の利用しやすさ」で不満度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町全体に比較して、「コミュニティや地域の人とのつながりの強さ」、「公民館など地区の集会所の施設の利用しやすさ」で不満度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町全体に比較して、「住まい周辺の道路の整備状況」、「歩行者に対する安全性・歩きやすさ」で不満度が高い。
第3回まちづくり会議の意見	大切だと思うキーワード※1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住みやすく快適な住環境（14点） ■ 利便性の高い都市環境（10点） ■ 地縁・コミュニティの繋がり（10点） ■ 豊かな自然環境（9点） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利便性の高い都市環境（12点） ■ 住みやすく快適な住環境（7点） ■ 豊かな自然環境（6点） ■ どこへ行くにも便利な公共交通（4点） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住みやすく快適な住環境（10点） ■ 利便性の高い都市環境（7点） ■ 地縁・コミュニティの繋がり（7点） ■ 地域固有の歴史・文化的資源（6点）
	まちづくり目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幅広い年代が支え合い、コミュニティを形成する等の意見が多い。 【回答の一例】 ※類似した趣旨の回答はまとめて記述しています ▶ 安心安全な移動の確保 ▶ 中高齢者を地域で支えるコミュニティづくり ▶ 地域資源を活用したまちづくり ▶ 幼児から老人まで自家用車なしで暮らせるまち 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東郷セントラル地区の拠点に関するキーワードとともに、安心安全を目標とする意見が多い。 【回答の一例】 ※類似した趣旨の回答はまとめて記述しています ▶ 豊かな自然を守り、セントラル地区を中心に子ども、高齢者が安全に暮らせる地域 ▶ 安心安全に暮らせるまちづくり ▶ 笑顔で集う明るいまち 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住みやすい環境、コミュニティの繋がり、安全安心に関する意見が多い。 【回答の一例】 ※類似した趣旨の回答はまとめて記述しています ▶ 人と人の強いつながり ▶ 住み良い町、老若男女が居心地の良い環境 ▶ 繋げよう「安全、安心、快適」な街づくり ▶ 老後、車がなくても住める町 等
まちづくり目標の見直しの視点		<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業活力のキーワードは残しつつ、町民アンケートやまちづくり会議のご意見を踏まえ、「快適な住環境」や「交通環境の改善」といったキーワードを加えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市拠点である東郷セントラル地区の整備が進んでいることから、「賑わい、魅力、便利」といったキーワードを加えます。一方でまちづくり会議のご意見を踏まえ、「安心」も明記します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域のニーズが高い「交通環境の改善」「安全」といったキーワードを加えます。また本地域の強みである「人々の交流（コミュニティ）」といったキーワードも明記します。

本計画における地域別まちづくり目標	<p>豊かな自然と新たな産業活力が調和した 誰もが快適に暮らせるまち</p> <p>本地域では、愛知池周辺に広がる森林等を始め豊かな自然を守り、育み、活用しながら、新たな産業による活力や住みよい環境の創出を目指します。また、交通環境の改善等に取り組み、高齢者を始め誰もが快適に暮らしやすいまちを目指します。</p>	<p>賑わいと魅力を創出し、多くの人が交流する安心・便利な暮らしのあるまち</p> <p>本地域では、今住んでいる人たちが今後とも住み続けたいと思えるとともに、新たな居住者が移り住みたくなるような、町の中心核にふさわしい賑わいと魅力あるまちを目指します。また、人口の増加を想定し、新旧の町民や来街者との生き生きとした交流がある、安心、便利に暮らせるまちを目指します。</p>	<p>自然・文化を通じた多世代交流と安全・快適な暮らしのあるまち</p> <p>本地域では、地域固有の自然資源や文化資源を通じて本地域に移り住んだ若い人たちから高齢者までが交流し繋がりを育むことができるまちを目指します。こうした地域資源を活用した魅力の向上やコミュニティの形成にあわせ、交通環境の改善等の都市整備を進め、安全・快適に暮らすことができるまちを目指します。</p>
地域のまちづくり方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛知池や田園景観等の自然環境の保全と既存市街地との調和のために ● 諸輪地区等の市街化区域内の市街地環境整備・維持のために ● 旧来からの市街化調整区域内集落の生活環境・コミュニティの維持のために ● 広域的な交通体系と身近な交通環境の整備推進のために ● 住居系及び研究開発・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東郷セントラル地区周辺の中心核の形成、白鳥地区の地域生活拠点の充実・改善のために ● 面的整備地区や旧来からの市街地の市街地環境整備・維持のために ● 町内をネットワークする公共交通の利便性の維持・改善のために ● 住居系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域固有の自然環境や文化資源の保全と活用のために ● 面的整備地区や古くからの市街地や集落等、多様な市街地や集落の環境整備のために ● きめ細かくサービスする公共交通、快適に移動できる交通環境の維持・改善のために ● 地域を支えるコミュニティの維持のために ● 住居系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために

※1：第3回まちづくり会議において「大切だと思うキーワード」は大切だと思う順に選択する設問となっており、「最も大切」= 3点、「2番目に大切」= 2点、「3番目に大切」= 1点として点数化した結果をカッコ書きしている。